

令和元年度 所沢市保健医療計画取組状況評価シート

目 次

第1章 健康の保持・増進	1
第1節 健康づくり	1
第2節 母と子の健康	18
第3節 栄養・食生活	24
第4節 歯・口腔の健康	31
第5節 予防接種	34
第2章 早期発見・治療とリハビリテーション	37
第1節 生活習慣病	37
第2節 精神疾患	43
第3節 リハビリテーション	48
第3章 医療提供体制	50
第1節 小児医療・周産期医療	50
第2節 救急医療	52
第3節 地域医療	54
第4章 市の公立医療機関の役割	58
第1節 所沢市市民医療センター	58
第2節 所沢市歯科診療所あおぞら	63
第5章 健康危機管理	64
第1節 感染症対策	64
第2節 災害時医療	68
第6章 所沢市国民健康保険医療費適正化への取り組み	70
第1節 所沢市国民健康保険医療費適正化への取り組み	70
第7章 計画の円滑な推進	72
第1節 保健・医療・介護・福祉の連携	72
第2節 計画推進のための体制	74

1. 目標指標の達成度

- ・31年度の目標値に対する達成率（到達率）により、目標指標達成度を求める。
- ・定量的な指標：基準年度（26年度）から目標値に対する各年度の伸び率で達成度を求める。
- ・定性的な指標：各年度の実績により判断して達成度を求める。
- ・基準表（上段：定量的な指標の判断基準、下段：定性的な指標の判断基準）

判断基準	達成度
達成度 100%を超える ----- 目標以上に達成した	A
達成率 80% ~ 100% ----- 目標達成または概ね目標を達成した	A
達成率 50% ~ 80%未満 ----- 現状維持、取り組みを実施中、新たな取り組みを開始	B
達成率 30% ~ 50%未満 ----- 研究・検討中または取り組みは実施しているが達成割合が低い	C
達成率 30%未満 ----- 未実施または取り組みは実施しているが達成割合が非常に低い	D

3. 評価方法

- ・評価は、「目標指標に対する達成度」と小項目ごとの「今後の市の方向性」に対する「取組状況（ ）」の両面から行う。
- ・小項目ごとに示された（ ）の取組状況結果を、取組実績の内容により、「所沢市保健医療計画推進委員会」において見直すことができるものとする。

2. 「今後の市の方向性」の取組状況

- ・前年度の実績との比較により、項目ごとの取組状況を求める。
- ・基準表（個別・全体共通）

判断基準	取組状況	
前年度の実績内容から改善・充実を図った 新たに取り組みを開始した	改善・充実	
前年度に引き続き取り組みを実施した	維持	
具体的な取り組みに向けて検討を行った	検討中	
未実施	未実施	—

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進

第1節健康づくり

(1)乳幼児期(0歳～6歳)

目標指標		朝7時までに起きる3歳児の割合	目標指標達成度	① *	A	B	C	D
目標指標の説明	健康的な生活リズムの獲得について図るための指標です。 目標は、朝方の生活リズムの大切さを様々な機会をとらえて発信し、令和元年度までに3歳児において68%を目指すものです。		目標 (R元年度)	68%				
			実績 (R元年度)	71.5%				
実績の算出方法	3歳児健康診査表により調査した、朝7時までに起きる乳幼児の割合 平成26年度実績62.9%から令和元年度目標の68.0%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。71.8% (R元実績) - 62.9% (H26実績) = 8.9% (進捗度) 8.9 / 5.1 × 100 = 174.5%		各年度の 達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				135.3%	135.3%	145.1%	174.5%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果		取組状況
		全17項目	(改善・充実) 2項目 (検討中) 0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績		
1 親子のふれあいの楽しさを知ってもらうために、乳幼児期からの語りかけやスキンシップの大切さを周知します。	(1) 親子での遊び方を示したリーフレット「親子ふれあい体操」を乳幼児健康診査時に保護者に配布して、子どもの成長には体作りが重要であり、親子のふれあいの楽しさを知ってもらうために、周知を図り、気軽に家庭でも実施しやすいよう工夫した。	継続		
	(2) リーフレット「親子ふれあい体操」を4か月児と10か月児用に分け、健診時に配布。さらに保護者の目に留まりやすいよう拡大ポスター - を健診会場2か所に掲示し、自宅でも活用してもらえるよう周知を図った。	継続		
	(3) BCGの読み聞かせボランティアに対し、独自の手作り玩具の紹介と読み聞かせの実演、情報交換・交流する機会の場を作り、スキルアップすることを目指した。 平成31年1月に今までの振り返りと来年度以降の事業の方向性について事業説明会を実施した。	絵本の読み聞かせを通じて、ふれあいの機会の大切さを感じてもらう「ところっこ親子ふれあい絵本事業」の令和2年度からの事業開始に向け、健康づくり支援課、こども支援課、所沢図書館で協議を重ね、4か月児健康診査会場でボランティアによる読み聞かせの試行実施を4回行った。		
2 健康的な生活リズムを獲得することで、健やかなからだところろが育つことを伝えます。	(1) 乳幼児期に獲得すべき正しい生活リズムを分かりやすく説明した生活リズムパンフレットを3歳児健診で配布して周知を図った。	継続		
	(2) 健診会場に生活リズムの大切さをより理解してもらうためポスターを掲示し周知を図った。	継続		
3 電話での育児相談や地域での乳幼児健康相談を引き続き実施します。	(1) 乳幼児と保護者を対象とした子育て電話相談等を実施した。	継続		
	(2) 身近な育児相談の利用しやすい場所として、実施している乳幼児健康相談において、助産師を配置し母乳相談、卒乳など産後のケアに対する相談の充実を図った。	継続		

4 離乳食教室やファミリー食育教室などを通じて、乳幼児期に必要な食習慣について周知します。	(1) 離乳期からより良い食習慣形成のため、離乳食教室を実施。その後も継続的に適切な食習慣を獲得するためにファミリー食育や児童館等の依頼の教育を実施した。	継続	
5 生涯を通じて健康な歯や口を維持するために、乳幼児の頃からむし歯を作らないことの重要性を伝えていきます。	(1) むし歯予防についての知識の普及や情報提供を各健康診査歯科相談(1.6歳児・3歳児)にて実施した。	継続	
	(2) 健診会場に、むし歯予防の大切さをより理解してもらうため、ポスターを掲示し周知を図った。	継続	
6 子育て支援機関との連携を深め、ネットワークづくりを推進し、子どもたちを地域で育てていきます。	(1) 主任児童委員と情報共有会議を実施。今後の連携について共通認識を図った。地域の子どもたちがより健康的な生活を送れるために関係機関との個別支援等の連携を継続した。	継続	
	(2) 各地区で開催している子育てに関係する会議に参加し、地域の課題に対して情報共有し、連携を深めた。(子育てネットワーク会議、あったか懇話会、まちづくり協議会)	継続	
	(3) こども支援課と連携し、両課がそれぞれで作成していた冊子をA4サイズからA5サイズ1冊に集約するための準備を進めた。	こども支援課と健康づくり支援課が共同で妊娠・出産・子育て期にわたる様々な子育て関連情報をA5サイズ1冊にまとめた「ところっこ子育てガイドブック」を作成し、市民への情報提供を分かりやすくした。	
7 乳児期からの上手なメディアとの付き合い方について、啓発ポスターやリーフレットなどを利用し、周知啓発を継続します。	(1) 乳幼児期から愛着形成を図るために、メディアとの付き合い方について、親の目に触れやすいよう保健センター内のトイレに日本小児科学会推奨「スマホに子守りをさせないで」のリーフレットを掲示した。	継続	
8 子育て講座や保健センター乳幼児健康診査などの会場において、乳幼児の事故予防やたばこ・アルコールによる健康被害についての啓発を継続します。	(1) 乳児期から事故予防の知識を得られるよう、事故予防のパンフレットを母子保健事業(赤ちゃん訪問・離乳食教室・乳幼児健康診査等)の際に配布して啓発した。	継続	
	(2) 乳幼児の事故予防のポスターをより目に触れやすいようにするため、健診会場内に掲示した。	継続	
	(3) 母親学級の中でたばこ・アルコール被害について啓発した。	継続	
特記事項 1	1 (3)健康づくり支援課、こども支援課、所沢図書館による連携事業 6 (3)平成30年度までは、別々で作成し、それぞれ配布していた妊娠・出産の冊子と、子育ての冊子について、健康づくり支援課とこども支援課が連携し、妊娠・出産・子育て期にわたる子育て関連情報をA5サイズ1冊にまとめた「ところっこ子育てガイドブック」を作成し、令和元年度から配布を開始した。		
委員会コメント欄			

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第1節健康づくり

(2)児童・生徒・学生期(7歳～20歳頃)

目標指標		教育関係機関と連携した子どもや家庭に対する健康づくりの情報発信の実施	目標指標達成度	①	A	B ★	C	D
目標指標の説明	教育機関と連携した情報発信の継続について測るための指標です。子どもたちが健康を意識した生活を送ることの大切さが学べるよう、実態に即した情報発信を継続していきます。		目標 (R元年度)	継続				
			実績 (R元年度)	継続				
実績の算出方法	教育関係機関と連携した子どもや家庭に対する健康づくりの情報発信の実施 R元実績：全校の新小学1年生、小学6年生、中学3年生にリーフレットを配布し健康づくりや保健センター事業について情報提供を実施。中学3年生向けの情報提供内容の更なる充実のため関係機関と会議を開催。		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	
		(改善・充実) 0項目	(維持) 19項目
		全20項目	(未実施) 1項目
		平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績
1 子どもたちの身体的・精神的・社会的成長(変化)を家庭・学校・行政が協働して支える仕組みづくりに努めます。	(1) 保健給食課、スポーツ振興課と教育現場の現状の情報共有を行い、小6、中3保健体育教材用リーフレットの内容の改正や配布時期等を検討し連携を図った。	継続 令和元年9月26日、健康づくり支援課、保健給食課・スポーツ振興課で情報共有の会議を開催した。	
	(2) 養護教諭部会研修会、学び創造プラン推進会議に出席し、子ども生活実態に関する情報共有を行い、家庭や子どもが健康に過ごすことができるような情報の発信に努めた。	継続	
	(3) こどもの体力向上並びに運動好きな子どもを育成するため、子どもへの運動機会の提供や家庭・地域・小学校との連携強化に努めた。	継続	
2 子ども自身が健康づくりを意識した生活が送れるように、また、成長する体の仕組みについて学べるよう、地域保健(保健センター)と学校保健が連携して、親や地域が学ぶ機会を増やしていきます。	(1) 市内小中学校で実施されている家庭教育学級及び学校保健委員会に出席時において、児童・生徒・学生期の健康づくりリーフレットを配布。新入児童学校説明会で新小1生活リズムリーフレットを配布し、学校生活を見越した生活リズムの意識付けを実施。 健幸ところトコトコプラン配布数：846部	継続 健幸ところトコトコぶらん配布数：140部	
	(2) 市民健康生活調査をもとに児童生徒学生期の生活実態と対応方法について周知し情報提供を実施。養護教諭部会研修会に出席し健康づくりリーフレットを配布し、児童生徒学生期の健康課題について周知した。	未実施 事業継続により養護教諭への周知が行き届いたため	—
	(3) 学校保健委員会では、子供たちの心身の健康課題について取り上げ、学校、家庭、地域が連携して子供たちの健康づくりを支援していくために共通理解を図った	継続	

3 子どもたちのコミュニケーション能力を育てるために、家庭での会話の重要性やインターネットとの上手な付き合い方を周知していきます。	(1) 市内小中学校で実施されている家庭教育学級及び学校保健委員会に出席時に、児童・生徒・学生期の健康づくりリーフレットを配布。 家庭教育学級：小学校3校、中学校4校 学校保健委員会：小学校1校、中学校1校	継続 家庭教育学級：小学校2校・中学校2校 学校保健委員会：周知をしたが希望校無し	
	(2) 市民健康生活調査をもとに児童生徒学生期のインターネット使用時間の実態と対応方法について周知し情報提供を実施。全家庭配布希望の学校には懇談会で配布し情報提供を行った。 健幸ところトコトコぶらんを希望校で全世帯365部配布(小学校1校)	継続 周知をしたが希望校なし	
	(3) 市学校保健会では、子どもたちがインターネットについて正しく理解し、安全に活用できるよう「情報モラル教育出前講座」を実施した(中学校5校)	継続 「情報モラル教育出前講座」(中学校5校実施)	
4 家族と一緒に食事することの重要性を周知していきます。	(1) 食育啓発用パンフレット配布により共食の啓発をした。	継続	
	(2) 「給食だより」や保護者対象の給食試食会等で、家族と一緒に食事することの大切さを伝えた。	継続	
	(3) 親子料理教室、異世代料理教室、ファミリー食育教室にて共食の大切さ、親子で料理することの大切さについて周知。	継続	
	(4) ファミリー料理教室では共食をテーマに講話を実施した。	継続	
	(5) 市内全小学1年生へ食育啓発用パンフレット配布により共食の啓発をした。	継続	
	(6) 健幸ところトコトコぶらんを全家庭配布希望の学校には懇談会で配布し情報提供を行う。(周知を行ったが希望校なし)	継続 周知をしたが希望校なし	
5 家庭での食事に野菜を取り入れるための情報や方法を発信していきます。	(1) 家庭教育学級(小学校6校)、親子料理教室、異世代料理教室において、積極的に野菜を取り入れる重要性について情報提供した。	継続 家庭教育学級：小学校5校	
	(2) 健幸ところトコトコぶらんを全家庭配布希望の学校には懇談会で配布するとともに(小学校1校)、市内全小学1年生へ食育啓発用パンフレット配布により、バランスのよい食生活について情報提供を行った。	継続 健康ところトコトコぶらん配布校なし。	
6 歯科医師の定期検診を受けて、自分の口の状態に合った正しいみがき方で歯みがきを習慣化することの重要性について周知をしていきます。	(1) 学校では、毎年定期的に歯科健康診断を行い、歯口腔の健康状態を把握するとともに、健康課題に応じた歯科保健指導を実施した。	継続	
	(2) 家庭教育学級(小学校1校、中学校4校)を通じて児童生徒学生期の歯磨き習慣、定期健診受診状況の実態と大切さについて情報提供を行った。	教員向け依頼教育を実施し、児童生徒学生期の歯磨き習慣、定期健診受診状況の実態と大切さについて情報提供を行った。 小学校1校	
	(3) 健幸ところトコトコぶらんを全家庭配布希望の学校には懇談会で配布し情報提供を行う。(周知を行ったが希望校なし)	継続 周知をしたが希望校なし	

特記事項 1	
委員会コメント欄	

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1, 2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進

第1節健康づくり

(3)青壮年期(20歳～59歳)

目標指標		青壮年期世代を対象とした事業の充実	目標指標達成度	①	A	B	C	D
					*			
目標指標の説明	自身の健康に関心が低い青壮年期の事業の充実について測るための指標です。様々な機会をとらえて健康に目を向けてもらえるように、事業を実施していきます。			目標 (R元年度)	充実			
				実績 (R元年度)	充実			
実績の算出方法	青壮年期世代を対象とした事業の実施 R元実績：これまでの理学療法士によるリハビリ相談の実施に加え、健康まつりでは、医師会との連携のもと血糖値測定を取り入れたほか、乳幼児健康相談における大人の健康相談コーナーで血管年齢測定の実施や乳がんモデル展示するなど、充実を図った。また、相談者に対しリーフレットを配布し、他事業へのつながりができ、健康意識の継続につながった。さらなる周知を図るため、歯と口の健康週間行事における大人の健康づくりコーナーの充実についても検討を進めている。			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元
					実施	実施	実施	充実

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 4項目	(維持) 29項目
		全33項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績		
		取組状況		
1 インターネットなどICT(情報通信技術)を活用して、健康情報の発信に努めます。	(1) ほっとメールや市ホームページ活用により、禁煙や健康に関する健康情報の発信をした。	継続		
2 引き続き、職域保健との連携を図り、健康に関する情報提供を行っていきます。	(1) 中小企業向けの健康情報リーフレット「健康づくり情報館」を年2回発行した。	継続		
3 特に女性は更年期による生活習慣病や骨粗しょう症等の発症が増加するため、生活習慣の振り返りや見直しが必要であることを伝えていきます。	(1) 市内小・中学校の家庭教育学級にて、青壮年女性を対象に更年期や生活習慣病に関する教育を通して啓発した。家庭教育学級における健康教育：7回	継続 家庭教育学級における健康教育：4回		
4 それぞれのライフスタイルにあった望ましい食習慣についての周知を図ります。	(1) 成人向けに「ステキな大人の健康食教室」(高血圧・脂質異常症・糖尿病・高尿酸血症等の各病態別のテーマによる健康講話+調理実習)の実施を通じ周知した。 ステキな大人の健康食教室：149名参加。	継続 ステキな大人の健康食教室：170名参加		
5 朝食を食べる習慣や1食に1皿は野菜を食べる等、重要な食習慣の周知に努めます。	(1) 親子での望ましい食習慣獲得をテーマとする「ファミリー食育教室」を開催し、朝食や野菜を食べる大切さ等、重要な食習慣について周知した。 ファミリー食育教室：129名参加。	継続 ファミリー食育教室：149名参加(親のみ)		
6 日常生活の中で身体を動かす習慣を持つことの大切さを伝えていきます。	(1) 成人健康相談や気軽にシェイプ運動教室等成人保健事業の中で、身体を動かす習慣を持つことの大切さを周知した。	継続 新たに、筋力トレーニングやストレッチ等運動を日常生活に取り組みきかけづくりを目的としたところん運動教室を実施した。		
	(2) 運動を通じ健康維持を図るとともに、生涯を通してスポーツに親しむきっかけづくりとして、さわやか健康体操教室、男性いつまでも元気体操教室や各種スポーツ大会などの事業を実施した。	継続		

7	自分に合ったストレスコントロールの方法を持つことの重要性について周知を進めます。	(1) 市ホームページに「こころの健康とストレスについて」を掲載し、周知を図った。また、簡単な質問に答えることで、こころのストレス状況と落ち込み度を知ることができる「こころの体温計」の二次元バーコードを、市ホームページや健康ガイドに掲載し、気軽にアクセスできるようにした。 総アクセス数：71,020件。	継続 総アクセス数：64,205件	
		(2) 中小企業向けの健康情報リーフレット「健康づくり情報館」にて、「ストレスへの気づきとセルフチェック」をテーマに情報提供を行った。地区活動や健康相談の中で、折に触れてストレスコントロールについて情報提供、相談対応を行った。	継続	
8	生活習慣が歯周病の原因になることから年1回以上の歯科検診の受診の必要性の周知や自身の生活習慣について考える機会の提供に努めます。	(1) 歯科に関する望ましい生活習慣の啓発と獲得を目指すため、成人歯科検診において、「歯や口の満足度」と「歯・口の健康度チェックシート」を実施した。自ら生活習慣を振り返り、保健指導を実施した。 成人歯科検診 533名参加	継続 成人歯科健診：485名参加	
9	健康への関心が低い人も自らの健康に目を向けられるような仕組みを構築します。	(1) 健康づくりに対する意識の向上と、自らの健康管理健康増進に役立ててもらうことを目的に、関係団体の協力を得て「健康まつり」を11月に開催した。 平成30年度延べ来場者数：1,803人	継続 令和元年度延べ来場者数：1,440人	
		(2) トコロん健幸マイレージ事業にて、歩くことを通して健康を意識できる仕組み作りを行った。	トコロん健幸マイレージは、参加者1,000名で推進、同事業は令和元年度で終了となるため、令和2年度から新たに参加者数の拡充と事業費用の抑制を図った「トコトコ健幸マイレージ」を開始できるよう準備を行った。	
		(3) 歯と口の健康週間行事・健康増進普及月間イベント・健康まつり等のイベントを行い、健康づくりの重要性について周知した。 健康増進月間イベント：本庁市民ホールで開催していたものを、商業施設にて開催。利便性を向上させ、幅広い層に健康づくりの重要性について周知した。	歯と口の健康週間行事では血管年齢測定を実施。健康まつりでは新たに医師会の協力を得て、血糖値測定を実施することで健康づくりの重要性を周知した。	
		(4) 糖尿病予防に焦点を当てたポスターを掲示し、より具体的な健康情報を提供した。 来所した市民の目に触れるように、保健センタートイレに季節に応じた健康情報を掲示した。	保健センタートイレの青壮年期対象事業を周知するポスターの掲示を追加し、来所者の健康意識の継続を図った。 糖尿病予防のポスターは地区事業でも活用し、情報発信を広げた。	
10	働き盛り・子育て世代の方も利用しやすい体制づくりに努めます。	(1) 土曜日に加え、日曜日にも胃・肺がん検診を同時に受診できる検診車検診を実施した。また、保健センターでの集団検診として、胃・肺・大腸・乳がん検診を1日で受診できる女性限定のプチ講座つき「レディースデー」を実施。	継続	
		(2) 日曜日開催する歯と口の健康週間行事、健康まつり等の機会を捉えて、普段保健センター事業を利用できない働き盛りの世代や自分の健康について考える余裕のない子育て世代に健康情報の提供をできるように努めた。	継続	
11	国民健康保険加入の30代の方については、30歳代健診の周知を進めます。	(1) 電子申請、電話による受診券発行受付を行った。	継続	
		(2) 市ホームページ、ほっとメール、各種イベントでのチラシ配布、対象者全員に勧奨はがき等を送付するなど、これまで以上に制度周知を強化した。	継続	
		(3) 30歳代の方と接する、乳幼児健康相談や乳幼児健診等の母子保健事業および地区担当保健師が行う地区活動の中で、健診を受けることの重要性の周知と受診勧奨を行った。	継続	

<p>12 特定健康診査やがん検診、骨粗しょう症検診等の受診率向上に向けて、利便性の向上を図り、働き盛り・子育て世代も利用しやすい体制づくりに努めるとともに、病気の早期発見に有用な健診(検診)の正しい知識の普及啓発に努めます。</p>	<p>(1) 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～を活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。</p> <p>(2) 受診率向上のため、「健康ガイドところざわ」に添付のがん検診申し込みはがきを切手不要とした。</p> <p>(3) 平成28年度に40歳、50歳、60歳、70歳を迎える市民に、勸奨通知として各種検診の案内と共に切手不要の申込はがきを送付し、受診率の向上を図った。</p> <p>(4) 土曜日に加え、日曜日も胃・肺がん検診を同時に受診できる検診車検診を実施した。また、保健センターでの集団検診として、胃・肺・大腸・乳がん検診を1日で受診できる女性限定のプチ講座つき「レディースデー」を実施。受診者の80%以上が「満足」と回答。</p> <p>(5) 平成28年度に20歳、25歳、30歳を迎える女性市民に、子宮頸がんについてのリーフレットと受診券を送付した。</p> <p>(6) 乳幼児健診・乳幼児健康相談等の母子保健事業、各地区担当保健師が行う地区活動において、健診受診が病気の予防に有用であることを説明し、健診受診を促した。健診の健診票の項目に保護者の健診受診についての項目を追加し、健診受診に関心をもってもらえるように努めた。</p> <p>(7) 歯と口の健康週間行事、健康まつりや健康増進普及月間等のイベントにおいて、健診受診が病気の予防に有用であることを説明し、健診受診を促した。健診結果説明会の参加者に参加特典を用意することで、健康無関心層にも健診受診をするきっかけをもってもらえるように努めた。</p>	<p>継続 市ホームページ、ほっとメール、広報紙、健康ガイドところざわ、コミュニティビジョン、各イベントでのPR等を通して健診(検診)の周知を図った。</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>	
<p>13 一人ひとりが健診(検診)の結果を正しく理解し、生活を振り返るきっかけにできるように健康相談・教室事業を充実します。</p>	<p>(1) 健診結果に関する各種健康相談(成人健康相談、栄養相談、気になる血糖値相談、健診結果相談)や健康教育(血液さらさら教室等)を実施した。健診結果説明会を新規で行った。 健康相談:127回開催、124人参加 健診結果相談:48回開催、83名参加 健診結果説明会:9日(18回)開催、781名参加</p>	<p>継続 健康相談(栄養相談、気になる血糖値相談含む):92回開催、113名参加 健診結果相談:26回開催、48人参加 健診結果説明会:8日(16回)開催、510名参加</p>	
<p>14 特定健康診査やがん検診等の重要性について周知を進めます。</p>	<p>(1) 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～を活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。</p> <p>(2) 協賛型タウンメールを活用し、スマートフォンから検診の申込ができるはがきを送付した。 市立小学校の新小学6年生の保護者向けにがん検診の勸奨通知を作成し、配布した。 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～を活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。 特定健診未受診者に対しては、がん検診の案内も含めた受診勧奨ハガキを作成・送付し、受診率向上を図った。</p> <p>(3) 各地区担当保健師が行う地区活動において、健診受診の重要性について説明し、健診受診を促した。</p> <p>(4) 健康まつりや健康増進普及月間等のイベントにおいて、健診受診を促した。</p>	<p>継続 市ホームページ、ほっとメール、広報紙、健康ガイドところざわ、コミュニティビジョン、各イベントでのPR等を通して健診(検診)の周知を図った。</p> <p>継続 新小学6年生の保護者向けがん検診の勸奨通知の作成・配布は未実施</p> <p>継続</p> <p>継続</p>	

<p>15 喫煙は、がん、循環器疾患、COPD(慢性閉塞性肺疾患)等の呼吸器疾患に共通した危険因子であるほか、低出生体重児の増加の一つの要因であるため、喫煙や受動喫煙の健康への影響に関するパンフレット等を利用し、啓発に努めます。</p>	<p>(1) 職域へ禁煙を啓発するため、チラシの配布、市ホームページ掲載により周知した。既存の禁煙に関するパンフレットについて数値等を更新し、パンフレットの一部をリニューアルした。</p>	<p>継続</p>	
	<p>(2) 歯と口の健康週間行事・健康増進普及月間イベント・健康まつり等多くの市民が集まる機会を捉えて、喫煙や受動喫煙の健康への影響に関するパンフレットの配布、喫煙の害を伝える媒体の展示を行った。</p>	<p>継続</p>	
<p>特記事項 1</p>	<p>6 (1)(2)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月より体操教室等の実施を自粛した。</p>		
<p>委員会コメント欄</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施を見送った事業等について、新型コロナウイルス感染症の収束後は、感染症対策を徹底したうえで再開されたい。</p>		

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進

第1節健康づくり

(4) 中年期 (60歳～69歳)

目標指標		毎年、定期的に健康診査を受けている人の割合	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	自らの健康状態の把握と健康づくりの取り組みについて測るための指標です。 平成26年度実績の63.7%から令和元年度までに67%を目指すものです。			目標 (R元年度)	67%			
				実績 (R元年度)	63.8%			
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の63.7%から令和元年度目標の67%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 63.8% (R元実績) - 63.7% (H26実績) = 0.1% (R元進捗度) H26～R元までの増減率 67.0% - 63.7% = 3.3% R元達成率...0.1% ÷ 3.3% × 100 = 3.03%			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元
					—	—	—	3.03%

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	3項目	(維持)	21項目
		全26項目	(検討中)	0項目	(未実施)	2項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 「からだの健康」や「こころの健康」についての相談窓口の周知を図ります。	(1) 全戸配布している健康情報冊子「健康ガイドとこざわ」や広報紙、市ホームページ等を通じて相談窓口の周知を図った。	継続				
	(2) こどもと福祉の未来館、図書館(9箇所)、地区体育館(5か所)、市民体育館、市民武道館に範囲を広め、「ご相談は保健センターへ」のチラシを掲示し、健康づくりの継続に努めた。 市民健康大学や健康ナイスミドル講座等の成人保健事業および各地区担当保健師が行う地区活動において、相談窓口の周知を図った。チラシを改良し、成人保健事業での周知に加え、ところん健幸マイレージ事業や各地区担当による地区保健活動等において配布し、相談窓口の更なる周知に努めた。	継続 新たに老人福祉センター(4か所)、老人憩いの家(8か所)、ラーク所沢に、「ご相談は保健センターへ」のチラシを掲示した。				
2 退職者の多い60代の方が、会社主体の生活から地域社会での生活へ移行がしやすいように、地域活動に関する情報を発信します。	(1) 定年退職を迎えた、又は退職予定の男性を対象に、健康を保ちながら、地域や家庭中心の生活に自然にシフトできよう支援するため健康ナイスミドル講座を開催した。	事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。				—
	(2) 先輩退職者の話を取り入れたり、健康ナイスミドル講座の一部をまちづくりセンターで実施する等、より地域を身近に感じてもらう工夫を行った。	事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。				—
3 特定健康診査やがん検診、骨粗しょう症検診等の受診率向上に向けて、利便性の向上を図り、働き盛りの世代も利用しやすい体制づくりに努めるとともに、病気の予防に有用な健診(検診)の正しい知識の普及啓発に努めます。	(1) 市民健康大学や健康ナイスミドル講座等の成人保健事業および各地区担当保健師が行う地区活動において、健診受診が病気の予防に有用であることを説明し、健診受診を促した。健診結果説明会を新規で実施した。 健診結果説明会：7日(14回)開催、382名参加 がん検診については、新規で実施したレディースデーについての周知を、成人保健事業にて行った。	継続 健診結果説明会：16回開催、510名参加 事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。				
	(2) 健康まつりや健康増進普及月間等のイベントにおいて、健診受診が病気の予防に有用であることを説明し、健診受診を促した。がん検診については、新規で実施したレディースデーについての周知を、成人保健事業にて行った。	継続 歯と口の健康週間行事、地域のイベント等、多くの市民が参加するイベントにおいても健診受診を促した。				

3 特定健康診査やがん検診、骨粗しょう症検診等の受診率向上に向けて、利便性の向上を図り、働き盛りの世代も利用しやすい体制づくりに努めるとともに、病気の予防に有用な健診(検診)の正しい知識の普及啓発に努めます。	(1) 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～るを活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。	継続 市ホームページ、ほっとメール、広報紙、健康ガイドところざわ、コミュニティビジョン、各イベントでのPR等を通して健診(検診)の周知を図った。	
	(2) 受診率向上のため、「健康ガイドところざわ」に添付のがん検診申し込みはがきを切手不要とした。	継続	
	(3) 平成28年度に40歳、50歳、60歳、70歳を迎える市民に、勸奨通知として各種検診の案内と共に切手不要の申込はがきを送付し、受診率の向上を図った。	継続	
	(4) 土曜日に加え、日曜日にも胃・肺がん検診を同時に受診できる検診車検診を実施した。また、保健センターでの集団検診として、胃・肺・大腸・乳がん検診を1日で受診できる女性限定のプチ講座つき「レディースデー」を実施。受診者の80%以上が「満足」と回答。	継続	
4 特定健康診査やがん検診等の重要性について周知を進めます。	(1) 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～るを活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。	継続 市ホームページ、ほっとメール、広報紙、健康ガイドところざわ、コミュニティビジョン、各イベントでのPR等を通して健診(検診)の周知を図った。	
	(2) 各地区担当保健師が行う地区活動において、地区診断の一部として、地区内の健診結果を分析し、地区の健康課題を提示すると共に、健診受診の重要性について説明した。	継続	
	(3) 40歳、50歳、60歳、70歳を迎える市民に、勸奨通知として各種検診の案内を送付した。	継続	
	(4) 健康まつりにおいて、所沢市医師会理事によるがんに関する講演会を実施し、市民への普及啓発を行った。	所沢図書館において「健康・医療コーナーPR展示」を実施し、がん検診の周知、勸奨を図った。また、健康まつりにおいて、生活習慣病と糖尿病に関する講演会を実施した。	
5 特定健康診査の受診率向上・特定保健指導の実施率向上と普及啓発を進めます。	(1) 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～るを活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。 所沢シティマラソンでのイベント参加が会場の都合により不可能であったため、代わりにとこしゃんまつり等でのPR活動を実施。	埼玉西武ライオンズの選手を起用したポスターや、ほっとメールや自治会回覧、ところバス中吊りを活用した受診勸奨、健康まつりやとこしゃんまつり等のイベント時に制度のPR活動を実施した。	
	(2) 所沢商工会議所の会報誌「sora」へ受診勸奨ポスターを折り込み、会員へ配布。店舗等で掲示してもらうことで、普及啓発を行った。	継続	
	(3) ワルツ所沢のバンケットルームにおいて、血管年齢測定会を実施するとともに、特定保健指導対象者に案内はがきを送付し、併せて保健指導を実施した。	継続	
	(4) がん検診の待ち時間を活用し、健康長寿サポーターを実施した。 市民健康大学や健康ナイスミドル講座等の成人保健事業および地区担当保健師が行う地区活動において、健康受診の重要性について説明し、健診受診を促した。	継続 事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。	
	(5) 健康まつりや健康増進普及月間等のイベントにおいて、健診受診を促した。特定保健指導未利用者に対し、会場や内容等工夫した様々な事業を実施することで、選択肢を拡大し、実施率向上に努めた。	継続 健康長寿サポーター養成講座においても健診受診を促した。 全13回 232名参加	
6 異世代交流の推進や所沢の食文化の伝承等、食に関するボランティア活動等への積極的な参加は、孤食予防にもつながるため、食を通じた地域活動の情報発信に努めます。	(1) 食文化の継承、共食の大切さや食習慣獲得を目的とした教室実施を通じ情報発信した。	継続	
	(2) 食生活改善推進員が実施している「高齢者ヘルスアップ事業」に対し、食生活改善推進員への活動支援を行った。	継続	

7 健康づくりには欠かせない野菜類の効能を広く周知し、野菜の摂取目標を達成出来るよう努めます。	(1) 成人向け栄養教室を実施した。 (2) 市内民間業者と協力して、ところん健幸弁当を販売し、適切な栄養バランスメニューを周知すると共に事業評価を行った。ところん健幸弁当の今後の展開について検討している。市ホームページ上で公開している「健康レシピ」について、インターネットサイトcookpad(クックパッド株式会社)にユーザー登録・公式キッチンを開設し、「健康レシピ」を掲載することで、野菜摂取方法の提案を行った。所沢産である、緑黄色野菜を含む2種類以上の野菜を使用したところん健幸弁当のメニュー作りを行った。	継続 継続 ところん健幸弁当については、試験的に実施したが、効果・課題等が明らかになったことから平成30年度で終了した。	
8 健康への関心が低い人も自らの健康に目を向けられるような仕組みを構築していきます。	(1) 健康づくりに対する意識の向上と、自らの健康管理健康増進に役立ててもらうことを目的に、関係団体の協力を得て「健康まつり」を11月に開催した。延べ来場者数:1,803人 (2) 未来館、図書館(9箇所)、地区体育館(5か所)、市民体育館、市民武道館に範囲を広め、「ご相談は保健センターへ」のチラシを掲示し、健康づくりの継続に努めた。まちづくりセンターおよびコミュニティセンター合計18か所のトイレ内に、健康づくりに関するチラシを掲示したことで、保健センターへの来所や保健センター事業への参加がなくても健康づくりに取り組めるような情報発信に努めた。チラシに掲載する健康づくりの内容を変更して継続した。 (3) 健康づくりに関心の低い方や、生活背景により健康づくりに取り組みにくい方を対象に、健幸マイレージ事業を実施。健診結果説明会を新規で実施し、参加者に参加特典を用意することで、健康無関心層にも健診受診をするきっかけをもってもらえるように努めた。ところん健幸マイレージ事業参加者 平成29年度からの継続参加者:500名 平成30年度新規参加者:1,000名	継続 延べ来場者数:1,440人 継続 新たに老人福祉センター(4か所)、老人憩いの家(8か所)、ラーク所沢に、「ご相談は保健センターへ」のチラシを掲示した。 継続 ところん健幸マイレージ令和元年度参加者:1,000名。 また、新たに、ところん運動教室を開始し、ところん健幸マイレージ参加者に対しても周知を図った。 全6回109名参加 74歳以下	
特記事項 1			
委員会コメント欄			

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第1節健康づくり
(5)高年期(70歳～)

目標指標		毎年、定期的に健康診査を受けている人の割合	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D	
目標指標の説明	自らの健康状態の把握と健康づくりの取り組みについて測るための指標です。 現状は、平成26年度の割合です。 目標は、3年ごとに受診している人にも、毎年受けてもらえるよう、令和元年度までに72%を目指すものです。		目標 (R元年度)	72%					*
			実績 (R元年度)	59.2%					
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の68.9%から令和元年度目標の72%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 59.2% (R元実績) - 68.9% (H26実績) = -9.7% (R元進捗度) H26～R元までの増減率 72% - 68.9% = 3.1% R元達成率... -9.7% ÷ 3.1% × 100 = -312.9%		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元		
				—	—	—	-312.9%		

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 3項目	(維持) 20項目
		全23項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績		
		令和元年度主な取組実績	取組状況	
1 「からだの健康」や「こころの健康」についての相談窓口の周知を図ります。	(1) 広報紙、市ホームページ等を通じて相談窓口の周知を図った。	継続		
	(2) 市民健康大学や健康ナイスミドル講座等の成人保健事業および各地区担当保健師が行う地区活動において、相談窓口の周知を図った。周知媒体であるチラシを改良し、トコロン健康マイレージ事業や各地区担当による地区保健活動等においても配布し、相談窓口の更なる周知に努めた。	継続 事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。		
	(3) 健康まつりや健康増進普及月間等のイベントにおいて、相談窓口の周知を図った。	健康長寿サポーター養成講座、歯と口の健康週間行事、地域のイベント等、多くの市民が参加するイベントにおいても相談窓口の周知を図った。		
2 地域の中で「つながり」「役割」「いきがい」をつくり、互いを支え合う取り組みの大切さについて周知を進めます。	(1) 中途障害者等が地域で孤立しないように、閉じこもり予防の観点から、活動の場を提供する目的で実施している地域リハビリ交流会に、ボランティアとして市民に関わってもらうことで、住民活動の在り方を考える学習の場となるように支援している。	継続		
	(2) 定年退職者男性を対象とした教育事業から発足したOB会に対し、地域での活動を継続するための健康づくりについて助言し支援している。	成人保健事業を通して、地域での活動の大切さや健康づくりについて助言し支援している。		
	(3) 在宅の高齢者の健康推進や閉じこもり防止・認知症予防のため、地域のボランティア団体が開催する「お達者倶楽部」を支援し、地域包括支援センターと連携しながら、高齢者の介護予防を進めるとともに、高齢者の居場所づくりや地域とのかかわりを支援している。	在宅の高齢者の健康維持や閉じこもり・認知症予防のため、地域住民の主体的な活動に対する支援(お達者倶楽部、トコロン元気百歳体操等)について市ホームページ等で周知を図った。また、地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の居場所づくりや地域住民同士の支え合いを支援している。		

<p>3 自分らしい生活ができるよう筋力や身体機能等を保ちながら、介護を必要としない日々を送れるように情報を提供し支援していきます。</p>	<p>(1) 市民健康大学や健康ナイスミドル講座等の成人保健事業において、要介護状態とならないための健康づくりについて情報提供している。</p> <p>(2) 高齢者が自立した生活を続ける意識を高め、より自発的な取り組みを促進するため、「トコロん元気百歳体操」の周知と実施する団体への支援を行った。また、「心とからだの健やかアンケート」を実施し、自宅で手軽にできる介護予防に関する情報や健康づくりを支援する各教室・事業について普及啓発を行った。</p>	<p>地区の依頼教育で、要介護状態にならないための健康づくりについて情報提供している。 介護予防教室：全7回152名参加 トコロん運動教室：全5回62名参加 75歳以上 事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。</p> <p>各地域包括支援センターにおいて、集団教室や個別訪問を通して、介護予防に必要な情報提供を行った。また、「心とからだの健やかアンケート」に普及啓発チラシを同封し、介護予防や健康づくりに関する情報や庁内の各種教室・事業について周知を行った。</p>	
<p>4 歯の喪失や口腔機能の低下は、その後の食生活や健康状態とも大きく関係するため、歯の喪失防止や口腔機能の維持・向上の重要性と、年1回以上の定期的な歯科検診の重要性に関する周知を進めます。</p>	<p>(1) 高齢者を対象とした歯科健康教育事業を通じ口腔の健康保持についての普及啓発を行った。 元気歯つらつ教室：全4回 高齢者歯科健康講座：全12回</p>	<p>継続 元気歯つらつ教室：全2回 高齢者歯科健康講座：全12回</p>	
<p>5 毎食野菜料理を1～2皿食べる人を増やしていくよう周知を進めます。</p>	<p>(1) 高齢者を対象とした、各種栄養教育を通じて、野菜の摂取量についての周知を行った。 各種栄養教育実績：38回</p>	<p>継続 各種栄養教育実績：38回</p>	
<p>6 一人で食事をする人を減らしていくことができるよう地域のつながりや顔の見える関係の重要性を周知し、支援していきます。</p>	<p>(1) 高齢者を対象とした、各種栄養教育を通じて、野菜の摂取量についての周知を行った。 各種栄養教育実績：38回</p> <p>(2) 食生活改善推進員が実施している「高齢者ヘルスアップ事業」に対し、食生活改善推進員への活動支援を行った。</p>	<p>継続 各種栄養教育実績：38回</p> <p>継続</p>	
<p>7 異世代交流の場や郷土料理の伝承等、食に関するボランティア活動等の情報発信に努めます。</p>	<p>(1) 食文化の継承、共食の大切さや食習慣獲得を目的とした教室実施を通じ情報発信した。</p> <p>(2) 食育全般に幅広い知識を有し、基本的な知識をわかりやすく伝えることができる食生活改善推進員の活動支援を行った。</p>	<p>継続</p> <p>継続</p>	
<p>8 特定健康診査の受診率向上・特定保健指導の実施率向上と普及啓発を進めます。</p>	<p>(1) 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～を活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。 所沢シティマラソンでのイベント参加が会場の都合により不可能であったため、代わりにとこちゃんまつり等でのPR活動を実施。</p> <p>(2) ワルツ所沢のバンケットルームを無料でお借りし、対象者に案内はがきを送付し、イベントを実施した。</p> <p>(3) ワルツ所沢のバンケットルームにおいて、血管年齢測定会を実施するとともに、特定保健指導対象者に案内はがきを送付し、併せて保健指導を実施した。</p>	<p>埼玉西武ライオンズの選手を起用したポスターや、ほっとメールや自治会回覧、ところバス中吊りを活用した受診勧奨、健康まつりやとこちゃんまつり等のイベント時に制度のPR活動を実施した。</p> <p>継続</p> <p>継続</p>	

8	特定健康診査の受診率向上・特定保健指導の実施率向上と普及啓発を進めます。	(4) 市民健康大学や健康ナイスミドル講座等の成人保健事業および各地区担当保健師が行う地区活動において、健診受診の重要性について説明し、健診受診を促した。健診結果説明会を新規で実施した。健診結果説明会：7日(14回)開催、382名参加	継続 健診結果説明会：16回開催、510名参加 事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。	
		(5) 健康まつりや健康増進普及月間等のイベントにおいて、健診受診を促した。特定保健指導未利用者に対し、会場や内容等工夫した様々な事業を実施することで、選択肢を拡大し、実施率向上に努めた。	継続 歯と口の健康週間行事、地域のイベント等、多くの市民が参加するイベントにおいても健診受診を促した。	
9	後期高齢者健康診査の受診率向上に向けて、健診項目の見直し(胸部レントゲン追加等)・利便性の向上を図り、病気の予防に有用な健診の正しい知識の普及啓発に努めます。	(1) 未実施	健康まつりにおいて、血管年齢測定会を実施し、対象者に案内はがきを送付した。	
10	健康への関心が低い人も自らの健康に目を向けられるような仕組みを構築していきます。	(1) 健康づくりに対する意識の向上と、自らの健康管理健康増進に役立ててもらふことを目的に、関係団体の協力を得て「健康まつり」を11月に開催した。 延べ来場者数：1,803人	継続 延べ来場者数：1,440人	
		(2) 未来館、図書館(9箇所)、地区体育館(5か所)、市民体育館、市民武道館に範囲を広め、「ご相談は保健センターへ」のチラシを掲示し、健康づくりの継続に努めた。 まちづくりセンターおよびコミュニティセンター合計18か所のトイレ内に、健康づくりに関するチラシを掲示したことで、保健センターへの来所や保健センター事業への参加がなくても健康づくりに取り組めるような情報発信に努めた。チラシに掲載する健康づくりの内容を変更して継続した。	継続 新たに老人福祉センター(4か所)、老人憩いの家(8か所)、ラーク所沢に、「ご相談は保健センターへ」のチラシを掲示した。	
		(3) 健康づくりに関心の低い方や、生活背景により健康づくりに取り組みにくい方を対象に、健幸マイレージ事業を実施。健診結果説明会を新規で実施し、参加者に参加特典を用意することで、健康無関心層にも健診受診をするきっかけをもってもらえるように努めた。トコロん健幸マイレージ事業参加者 平成29年度からの継続参加者：500名 平成30年度新規参加者：1,000名	継続 トコロん健幸マイレージ令和元年度参加者：1,000名。 令和元年度から、トコロん運動教室を新規で実施しトコロん健幸マイレージ参加者に対しても周知を図った。 全5回62名参加 75歳以上	
特記事項 1				
委員会コメント欄	令和元年度実績における70歳以上の定期健(検)診受診率が、基準である平成26年度実績よりも低いものとなっている。今後も、地区活動や各種事業など、機会をとらえて定期健(検)診の重要性について周知するとともに、通知による受診勧奨を引き続き行い、受診率の向上に努められたい。			

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第1節健康づくり

(6)みんなだれでも(健康づくりに取り組みにくい状況にある人たち)

目標指標		だれもが健康を意識できる情報発信の実施	目標指標達成度	①	A	B	C	D
目標指標の説明	それぞれの状況に合わせた情報発信の継続について測るための指標です。健康づくりに取り組みにくい状況にある人たちは、健康に関する情報が得にくいことがあるため、それぞれの状況に合わせた情報発信に努めます。					*		
実績の算出方法	だれもが健康を意識できる情報発信の実施 R元実績：障害特性、諸外国文化の違いに左右されない健康づくりが重要と考え、例年通り心身障害者歯科指導、障害児歯科指導等にて情報提供を実施。また外国人に対する健康づくりについて、市内在住の外国人との情報交換を実施し、健康づくり支援課、文化芸術振興課、社会福祉協議会での連携を図った。また、障害者施設における健康教育の実施にむけ、関係機関と連携、調整を図った。			目標 (R元年度)	継続			
				実績 (R元年度)	継続			
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	2項目	(維持)	4項目
		全7項目	(検討中)	1項目	(未実施)	0項目
		平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績			取組状況
1 障害の特性や、外国の文化の違いはあるものの、環境に左右されない部分での健康づくりが重要です。自分自身のからだや健康に意識が向けられるような仕組みづくりを推進していきます。	(1) 心身障害者歯科保健指導を4施設で実施し、延べ108名に歯科指導を実施した。また、障害児歯科は平成8年から実施しており、2施設で延べ60名に歯科指導を実施した。リハビリ教室基礎コース、地域リハビリ交流会では、歯科保健指導を延べ6名に実施した。	継続 心身障害者歯科保健指導：4施設のべ156名 障害児歯科指導：2施設のべ132名 自立支援協議会にてレシビ集を配布 市内障害者施設への健康教育実施に向けて検討、調整を行った。				
2 介護をしながらも介護者が自らの体や健康に目をむけ、健康管理や健康診断等を積極的に受けられるような取り組みに努めます。	(1) 仕組み作りについて検討を始めた。	仕組み作りについて検討を進めた。				
3 障害者や外国人、介護者などの健康づくりに取り組みにくい状況にある人たちへ情報を伝えるとともに、地域への情報発信に努めます。	(1) 国立障害者リハビリテーションセンターの障害者検診や、歯科診療所やおぞらの診療案内について、障害者福祉ガイドに掲載した。 (2) 商業観光課主催外国人留学生向けイベント時に血圧・血管年齢測定を14名に実施した。文化芸術振興課と外国人向け母子保健に関する資料について情報共有を行った。外国人対応可能な医療機関の情報を収集した。所沢市視覚障害者福祉協会からの依頼を受け、栄養指導を実施した。	継続 市内に住んでいる外国人と各国の医療や保健情勢について情報交換会を実施した。情報交換会の実施にあたり、文化芸術振興課と社会福祉協議会と連携を行った。市民ホールに7か国語版妊娠から入学までのチャートを展示(文化フォーラムプレ展示)した。				
4 関係機関と連携し、健康問題の把握及び情報共有を行っていきます。	(1) 平成16年度より生活福祉課と連携し、路上生活者巡回相談を実施している。 1回実施 対象者0名	継続 1回実施、対象者0名				
5 地域に住む外国人の健康状態等の把握に努め、適切な医療や相談窓口につなげます。	(1) 所沢中国帰国者交流会からの依頼を受け、栄養指導を実施した。 実績：20名参加	妊娠した外国人への届出場所周知について検討を開始した。また視覚障害者福祉協議会からの依頼を受け、栄養指導を実施した。 実績：20名参加				
6 「所沢市子ども福祉の未来館」内に設置される「地域福祉センター」との連携を図ります。	(1) 地域福祉センターの利用者登録により、自主的な団体活動を通じた、地域福祉及び健康の増進を図っている。また、貸館を通じ、各担当課の実施事業を支援している。	貸館を通じ、登録団体及び個人の健康増進活動を支援するとともに、各担当課の健康増進関連事業を支援した。また、館内掲示により利用者に対し、熱中症予防に関する周知啓発を行った。				

特記事項 1	
委員会コメント欄	

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第2節母と子の健康

(1)子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

目標指標		この地域で子育てをしたいと思う親の割合	目標指標達成度	㉠	A	B	C	D
目標指標の説明	所沢市の子育て環境の充実について測るための指標です。 現状は、健やか親子21調査で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合です。 目標は、令和元年度までに現状の5%増とし、様々な支援機関が連携し、安心して子育てできる地域づくりを目指すものです。			目標 (R元年度)	96%			
				実績 (R元年度)	93.0%			
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の91.0%から令和元年度目標の96.0%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 93.0% (R元実績) - 91.0% (H26実績) = 2.0% (R元進捗度) H26～R元までの増減率 96.0% - 91.0% = 5.0% R元達成率... 2.0% ÷ 5.0% × 100 = 40.0% H30実績 93.2%			各年度の 達成率(状況)	H28 0%	H29 32.0%	H30 44.0%	R元 40.0%

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 3項目	(維持) 5項目
		全8項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目
			令和元年度主な取組実績	
	平成30年度主な取組実績		取組状況	
1 関係機関が連携して、多面的な支援、多様な家庭に対応できる支援を図ります。	(1) 「所沢市要保護児童対策地域協議会」を中心に、関係機関において、支援が必要な家庭について、情報共有を行い、多面的な支援を行った。協議会の進行管理部会を開催した。 進行管理部会：11回開催 (2) 要保護児童対策協議会における支援対象児童については、関係機関で情報共有及び支援方針を検討し、支援を継続している。 (3) 多面的な支援が必要な家庭に対し、必要に応じて関係機関職員と情報共有を行い適切な支援に努めた。健康づくり支援課主催の育児支援調整会議を実施し、関係機関職員と情報共有を図り、適切な支援に努めた。また、主任児童委員とも情報共有を実施した。	継続 協議会の進行管理部会に、教育センターが加わった。 進行管理部会：11回開催した。		
2 必要な時に必要な情報を得ることができ、保健師・歯科衛生士・栄養士や必要に応じて医師、心理相談員等専門職に相談できる環境整備を図ります。	(1) 必要な時に必要な情報収集や相談が受けられるよう、子育て電話相談、予約制の健康相談、医師や臨床心理士など専門職による専門相談を実施。	継続		
3 母子愛育班等による子育て中の家庭への声かけなど地域全体で子育てを支え、孤立化の防止、健やかな成長を支援し安心できる子育て環境づくりに努めます。	(1) 子どものすこやかな成長を見守り育む地域づくりを推進するため、母子愛育班員による、各地区での子育て支援を実施。保健師は母子愛育班員をサポートとし班員の育成に努めた。新たな愛育班発足に向けて、関係者等と調整を図り、並木地区に母子愛育班が発足した。	継続		

<p>4 引き続き、母子保健地区組織育成事業、民生委員・児童委員及び協議会活動推進事業、ファミリーサポート事業、まちづくりセンター(公民館)における子育て支援事業により関係団体が連携し地域での子育てを支援していきます。</p>	<p>(1) ファミリーサポート事業について、「地域福祉サポーター全体会」、「高齢者大学」で援助会員養成講座の案内等を配布し、周知を図った。また、まちづくりセンター等で開催している乳幼児健康相談にて、出張登録を行った。 民生委員・児童委員へ援助会員養成講座の案内を配布し、講座開催の周知を図った。</p> <p>(2) 地域で子育て支援している方及び子育て支援に興味がある方、孫育て中の方及び孫育てに興味関心のある方を対象に、子育て講演会を実施した。テーマ:「聞いて得する孫育て～今どきの子育てを知って孫さ育てを楽しもう」</p> <p>(3) 子育てに関する会議の中で、地域の子育て情報を提供するための「子育てマップ」を作成した(吾妻・新所沢・新所沢東・柳瀬地区)各地区で開催している子育てに関する会議に出席し、地域の課題に対して情報共有し、連携を深めた(子育てネットワーク会議・あったか懇話会・まちづくり協議会)</p>	<p>継続 これまでの取組に加え、社会福祉協議会登録ボランティアに対し、援助会員養成講習会の案内をメール配信し、周知を図った。</p>	
<p>特記事項 1</p>			
<p>委員会コメント欄</p>			

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1, 2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第2節母と子の健康

(2)切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策

目標指標		乳幼児健康診査受診率(4か月・10か月・1歳6か月・3歳)	目標指標達成度	①	A	B	C	D
								*
目標指標の説明	一連の健康診査の受診率から、切れ目ない支援について測るための指標です。現状は、平成26年度の受診率(93.8%)です。目標は、令和元年度までに100%とし、乳幼児の成長に合わせた受診環境の充実を目指すものです。		目標(R元年度)	100%				
			実績(R元年度)	93.5%				
実績の算出方法	乳幼児健康診査受診率(4か月・10か月・1歳6か月・3歳) 目標に対する達成率は、平成26年度実績の93.8%から令和元年度目標の100%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 93.5%(R元実績)-93.8%(H26実績)=-0.3%(R元進捗度) H26~R元までの増減率 100%-93.8%=6.2% R元達成率...-0.3%÷6.2%×100=-4.8% H30実績 95.6%		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				25.8%	8.1%	29.0%	-4.8%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	6項目	(維持)	7項目	
		全13項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績					取組状況
1 妊娠・出産に関する正しい知識の普及、妊娠中の食生活や適正な体重管理、禁煙、禁酒についての啓発を継続します。	(1) 妊娠期からの相談支援の充実を図るために健康づくり支援課内に開設した子育て世代包括支援センターかかるともで妊娠届を出した人を対象に、かかるとも限定オリジナル母子健康手帳を配布し、かかるともでの妊娠届出率の増加を図った。また、妊娠届出時に専門職による面談を実施し、妊娠中の過ごし方について妊婦と一緒に「かかるともプラン」(セルフプラン)を作成。正しい知識と子育て支援の情報について周知を図った。	継続	「かかるともプラン」(セルフプラン)を提供した方に対し葉酸米&柔軟剤をプレゼントし妊娠届出率(面談率)の増加、正しい知識と子育て支援の情報について周知を図った。				
2 相談先についての周知に努めます。	(1) 相談先について、子育てガイドブックに掲載。ところっこ子育てサポート事業を周知するため、チラシをまちづくりセンターと地域子育て支援拠点(保育園等)に配布した。	相談先について、子育てガイドブックに掲載。また、ところっこ子育てサポート事業のパンフレットを新たに作成し、まちづくりセンターや保育園、幼稚園、児童館等の関係機関に配布して周知を図った。					
	(2) 平成28年6月に専門相談員及び専用電話を設置し、妊娠期からの相談支援の充実を図るために健康づくり支援課内に開設した子育て世代包括支援センターかかるともで妊娠届を出した人を対象に、かかるとも限定オリジナル母子健康手帳を作成し、かかるともでの妊娠届出率の増加を図った。また、妊娠届出時に専門職による面談を実施し、妊娠中の過ごし方について妊婦と一緒に「かかるともプラン」(セルフプラン)を作成。正しい知識と子育て支援の情報について周知を図った。	継続	「かかるともプラン」(セルフプラン)を提供した方に対し葉酸米&柔軟剤をプレゼントし妊娠届出率(面談率)の増加、正しい知識と子育て支援の情報について周知を図った。				
3 子どもの健全な発育・発達を促し安心・安全な生活が送れるよう、母子保健事業の機会を捉え、事故予防の啓発に努めます。	(3) まちづくりセンターで届出した者について、子育て世代包括支援センターの専門相談員からマタニティコールを実施し、つながらない方には後日事業案内を送付し、相談先等の周知に努めた。	継続					
	(1) 妊娠届出、乳児家庭全戸訪問、乳幼児健康診査などあらゆる機会を捉えて、転落、怪我、誤飲、窒息などの事故予防について周知啓発を実施。乳幼児健康診査実施会場内に事故予防に関するポスターを掲示した。また、「誤飲・窒息防止用スケール」を展示し手に取って確認できるよう工夫した。	継続	三ヶ島地区では保育園職員に対し事故予防の講習会、保護者には地域子育て支援センター、三ヶ島まちづくりセンター、わかば児童館・すみれ児童館で依頼教育にて事故予防の周知を行った。				
4 子どもが心身ともに健康に育つよう妊婦、乳幼児を対象とする健診・教室・相談事業の充実を努めます。	(1) 妊娠から出産、子育てにおいて、子どもの健やかな成長と保護者の心配や不安を解消するため、母親学級、両親学級、乳児家庭全戸訪問、乳幼児健康診査など各種母子保健事業を実施。申込み希望の多い、両親学級を年間6回から12回に増加。 平成30年度実績 乳幼児健康診査：受診者延9,764人、受診率95.6%	継続	令和元年度実績 乳幼児健康診査：延べ受診者：8,427人、受診率93.5%				

5 産後の育児サポートの充実等、安心して出産・子育てできる環境整備に努め母子保健事業の更なる充実に努めます。	(1) 子育て世代包括支援センターによる相談支援を充実。4か月児健康診査及び乳幼児健康相談事業の際、希望者に対し、助産師により母乳相談を実施し、不安解消に努めた。産後ケア事業を実施し、家族などから産後の支援を受けられず、育児に不安がある等支援を必要とする母子に対し、病院等に宿泊して心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援を実施。 平成30年度実績 産後ケア事業：利用人数15人、利用延べ日数61日 母乳相談：延べ319人 都内1医療機関、市内1医療機関と新たに契約。4医療機関(助産院含む)で利用可能となった。	継続 令和元年度実績 産後ケア事業：利用人数23人、利用延べ日数107日 母乳相談：延べ253人	
6 子どもの健全な発育・発達のため、医療機関や「こども支援センター」など関係機関との連携を図ります。	(1) こども支援センター「大地」では、子育て支援エリア「ルピナス」と発達支援エリア「マーガレット」が連携して合同事業を実施した。また、発達支援においては、相談しやすい環境づくりに努め、相談利用者の増加を図った。 (2) こども支援課と連携し、両課がそれぞれで作成していた冊子をA4サイズからA5サイズ1冊に集約するための準備を進めた。 (3) 子どもの健全な発育発達のため、こども相談センター、教育センター、こども支援センター、保健センターによる4センター会議を実施。	継続 こども支援課と健康づくり支援課が共同で妊娠・出産・子育て期にわたる様々な子育て関連情報を1冊にまとめ、市民への情報提供を分かりやすくした。 継続	
7 妊婦、乳幼児を対象とする健診、教室、相談事業でのむし歯予防の取り組みの充実、歯科医療機関との連携を図ります。	(1) 母親学級、乳幼児健康診査、乳幼児健康相談、2歳児歯科健康教室、3歳児フッ化物塗布などの母子保健事業を通じ歯科医療機関と連携を図った。	継続	
8 関係機関が連携し、障害や慢性疾患のある子どもの支援の充実に努めます。	(1) 出生後、何等かの障害や慢性疾患により継続支援が必要な家庭に対し、病院からの連絡により、こども福祉課や保健所と連携し、退院後の在宅生活に必要な支援を実施。	継続	
9 様々な状況にある保護者に対応できる支援を行うとともに、保護者自身の健康管理の支援に努めます。	(1) 乳幼児健康診査票の問診項目に、保護者自身の健康に関する質問項目を追加(年1回健康診査を受けていますか、かかりつけ医がいますか)機会を捉えて、受診勧奨や相談事業の周知を実施した。	乳幼児健康相談事業(お子さんの相談事業)に来所した保護者を対象に理学療法士による身体のメンテナンスのミニ講話や実技、乳がん模型を活用し、自己検診やがん検診の啓発を実施した。	
特記事項 1	目 第1次計画における目標指標は、乳幼児健康診査の受診率100%としているが、第2次計画では、母子保健法に基づき、乳幼児健康診査の未受診率を減少させることを目指すよう変更した。 4 (1)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3/1～3/31までの乳幼児健康診査(集団)は延期した。		
委員会コメント欄	新型コロナウイルス感染症拡大防止が進む中、今後も、母と子の健康に関する事業を継続し、家庭への引きこもりや孤立化を防止するよう努められたい。		

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第2節母と子の健康

(3)思春期の子どもたちのこころとからだの健やかな成長のための支援

目標指標		児童・生徒への健康に対する自己管理意識を高めるためのパンフレットを児童・生徒に配布	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	健康に関する自己管理意識について測るための指標です。引き続き、児童・生徒及び家庭への健康教育を推進します。					*		
実績の算出方法	児童・生徒への健康に対する自己管理意識を高めるためのパンフレットを児童・生徒に配布		目標 (R元年度)	継続				
			実績 (R元年度)	継続				
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	1項目	(維持)	15項目	
		全16項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況	
1 乳幼児期からの母子支援の充実により、母子の愛着形成の段階から、思春期の対人関係の基礎となる人との信頼関係を築く基盤づくりを支援します。	(1) BCGの読み聞かせボランティアに対し、独自の手作り玩具の紹介と読み聞かせの実演、情報交換・交流する機会場を作り、スキルアップすることを目指した。 また「近年の子育て事情と親子のふれあいの大切さ」をテーマに元園長による研修会(H29.12)を実施した。具体的なエピソードを聞く機会となり支援者のモチベーションを高めた。		絵本の読み聞かせを通じて、ふれあいの機会の大切さを感じてもらおうとところっこ親子ふれあい絵本事業、の令和2年度からの事業開始に向け、健康づくり支援課、こども支援課、図書館で協議を重ね、4か月児健康診査会場ボランティアによる読み聞かせの試行実施を4回行った。				
2 家族や周囲の大人が、思春期の発達について理解し、子どもと向き合えるよう周知するとともに支援に取り組みます。	(1) 市内小中学校で実施されている家庭教育学級及び学校保健委員会に出席時に、児童・生徒・学生期の健康づくりリーフレットを配布。 健幸ところトコトコぶらん配布数：846部 新入児童学校説明会で新小1生活リズムリーフレットを配布し、学校生活を見越した生活リズムの意識付けを実施。 (2) 市民健康生活調査をもとに児童生徒学生期の生活実態と対応方法について周知情報提供を実施。 平成29年7月14日養護教諭部会研修会に出席 (3) 養護教諭部会研修会に出席し健康づくりリーフレットを配布し、児童生徒学生期の健康課題について周知を図った。 平成30年6月26日養護教諭部会研修会に出席。	継続	健幸ところトコトコぶらん配布数：140部				
3 主に高校生を対象とした思春期こころの健康相談事業を継続します。	(1) 高校生やその家族を対象に精神科医による「思春期こころの健康相談」を実施した。 平成30年度実績：年間10回開催、延べ相談者数18人	継続	令和元年度実績：年間12回開催、延べ相談者数20人				
4 関係機関それぞれが、思春期の子どもたちのこころとからだの相談に対応します。	(1) 市内小中学校で実施されている家庭教育学級及び学校保健委員会に出席時に、児童・生徒・学生期の健康づくりリーフレットを配布、市民健康生活調査をもとに児童生徒学生期の生活実態と対応方法について周知情報提供を実施。家庭教育学級：小学校3校、中学校4校 学校保健委員会：小学校1校、中学校1校	継続	家庭教育学級：小学校2校、中学校2校				

4	関係機関それぞれが、思春期の子どもたちのこころからの相談に対応します。	(1) 養護教諭部会研修会に出席し健康づくりリーフレットを配布し、児童生徒学生期の健康課題について周知を図った。 平成30年6月26日養護教諭部会研修会に出席	学校保健との連携を図るため、保健給食課、スポーツ振興課、健康づくり支援課等の関係機関と情報共有を行った。 養護教諭部会研修会には欠席。	
		(2) こころの健康メール相談において、思春期の子どもとの相談と思われるものに対応をした。 平成30年度実績：85件	こころの健康メール相談件数 令和元年度実績：135件	
		(3) 学校における生徒指導体制の充実として、心のふれあい相談員32名を配置し、子どもたちからの相談に対応している。	学校における生徒指導体制の充実として、心のふれあい相談員32名を配置し、児童生徒や保護者からの相談に対応している。また、令和元年度より新たに市費でスクールカウンセラー4名を配置し、相談体制の充実に努めている。	
		(4) 教育センター教育相談室で、のべ3934回の面接相談とのべ2775件の電話相談を実施した。	教育センター教育相談室で、のべ3959回の面接相談とのべ2500件の電話相談を実施した。	
5	子ども自身が将来を見据えて健康管理の意識が持てるよう、各機関が連携して取り組みます。	(1) 学校では、子どもたちが自分で自分の健康を管理することができるよう発達段階に応じた健康教育を実施している。	継続	
		(2) 中学3年生に対し健康相談窓口を伝えるリーフレット配布により周知を図った。	継続	
6	学校と関係機関が連携し、性に関する指導、妊娠・出産に係る正しい知識等の教育内容の充実強化を図ります。	(1) 市学校保健会では、性に関する指導の充実をはじめ、子供たちの心身の健やかな成長のため、専門講師派遣事業を実施した。 平成30年度実績 専門講師派遣事業：中学校14校	継続 令和元年度実績 専門講師派遣事業：中学校13校	
		(2) 中学3年生に対し健康相談窓口を伝えるリーフレット配布により周知を図った。	継続	
7	子どものこころからだを守るための健康に関する啓発教材の活用を図ります。	(1) 中学3年生に対し健康相談窓口を伝えるリーフレット配布により周知を図った。	継続	
		(2) 薬物乱用防止のため、危険ドラッグ等に関する啓発リーフレットを市内中学3年生に配布した。	継続	
特記事項 1	1 (1) 4か月児健康診査会場での「親子で読み聞かせ」は、健康づくり支援課、こども支援課、所沢図書館による連携事業			
委員会コメント欄				

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第3節栄養・食生活

(1)適正体重を維持するための知識の普及

目標指標		適正体重を知り、維持していくための食生活の啓発	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	適正体重を維持するための知識の普及について測るための指標です。 引き続き、適正体重を意識した食生活に目を向けてもらえるよう、事業を実施していきます。		目標 (R元年度)	継続				
			実績 (R元年度)	継続				
実績の算出方法	適正体重を知り、維持していくための食生活の啓発		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	継続

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	1項目	(維持)	9項目
		全10項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 妊産婦に対する栄養バランスのとれた食生活の指導・助言に努めます。	(1) 母親学級(栄養)を実施し、妊娠中の食生活についての指導・助言に努めた。 平成30年度実績 母親学級(栄養):年6回開催、参加者数87人	継続 令和元年度実績 母親学級(栄養):年6回開催、参加者数68人				
	(2) 新事業として、出産後、ホルモンバランスの変化や育児ストレスなどにより、体調を崩しがちな出産後の女性を対象に、産後ママクッキングを実施 平成30年度実績 産後ママクッキング:6回開催 参加者119人	継続 令和元年度実績 産後ママクッキング:5回開催、参加者数109人				
2 妊娠期から育児期の母子の健康管理のための食育に関する知識の普及啓発に努めます。	(1) 母親学級(栄養)を実施。 平成30年度実績 6回開催、参加者数87人	継続 令和元年度実績 母親学級(栄養):6回開催、参加者数68人				
	(2) 育児期の母子の健康管理のため、望ましい食習慣の取得を目的に、かみかみ期料理教室を実施した。 平成30年度実績 かみかみ期料理教室:6回開催 参加者124人	継続 令和元年度実績 かみかみ期料理教室:6回開催、参加者数261人				
3 乳幼児健診などを利用して、子どもの望ましい食習慣や適正体重について啓発活動に努めます。	(1) 保健センターで実施する乳幼児健康診査(3歳児)を通して、望ましい食生活や適正体重について、指導、啓発に努めた。 平成30年度実績 3歳児健診:受診児数:2,656人、受診率:93.7%	継続 令和元年度実績 3歳児健診:受診児数:2,271人、受診率91.8%				
4 望ましい食習慣や知識の習得を図るため、栄養教育や栄養相談を通じて食に関する不安の軽減に向けて食育を推進します。	(1) 栄養バランスや旬の食材に配慮したトコロん健幸弁当を考案し、業者に作成販売を依頼した。 広報紙に年4回「健康レシピ」の掲載を実施した。 各種栄養教室や、栄養に関する各種健康相談を通じて、望ましい食習慣や知識の習得を図った。	継続 これまでの取組に加えて、クックパッドに「所沢市管理栄養士監修レシピ」の掲載を実施した。 トコロん健幸弁当については、効果・課題等が明らかになったことから平成30年度で終了した。				

5	自ら食を選択する力や健全な食生活を実践する力を育てるため、食育の学習を計画的に進めます。	(1) 各食育推進計画推進事業(親子料理教室、食育講演会、団体等からの依頼や共催など)により、食育の推進を図った。	継続	
6	肥満やメタボリックシンドローム、生活習慣病予防を目的とした、食生活改善のための栄養教育に努め、健全な食生活からの健康増進を目指します。	(1) 健康食教室、料理教室等を実施し、参加者に生活習慣病予防に関する栄養講話と調理実習を通して、健全な食生活の普及啓発を図った。	継続	
7	職域保健と連携し、事業主や労働者向けに食育を行います。	(1) トころん健幸マイレージ参加者に健康レシピを配布した。職域保健に対する食育の推進については、周知を行ったが希望は無かった。	継続 職域保健に対する食育の推進については、周知を行ったが希望は無かった。	
8	食育関係団体と連携し栄養教育を進めます。	(1) 食育の普及啓発や食育推進活動への積極的な参加を促すとともに、分野や地域を超えた食育のネットワークの基盤を確立し、各関係機関や地域におけるつながりを強化することを目的に「食育のイベント」を実施した。 市役所の市民ホールにて食育月間イベントを2日間実施した。 平成30年度実績...297人	食育の普及啓発や分野を超えた食育のネットワークの基盤を確立し、各関係機関とのつながりを強化することを目的に「庁内栄養士業務研修会」を年2回実施した。	
特記事項 1				
委員会コメント欄 職域保健と連携した健康の保持・増進(食育)については、積極的に推進が図れるよう、事業者との連携を強化し、周知方法や取り組み内容などについて検討をお願いしたい。				

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第3節栄養・食生活

(2)朝食を意識したバランスのよい食生活の普及

目標指標		いつもの朝食にプラス1皿の野菜料理を取り入れることの推進	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	朝食を意識したバランスのよい食生活の普及について測るための指標です。 引き続き、幼児期からバランスの良い食生活を身につけるために、食育を推進していきます。			目標 (R元年度)	継続			
				実績 (R元年度)	継続			
実績の算出方法	いつもの朝食にプラス1皿の野菜料理を取り入れることの推進		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	継続

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 0項目	(維持) 16項目
		全17項目	(検討中) 0項目	(未実施) 1項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績		
		取組状況		
1 乳幼児の成長過程に応じた生活リズムの基礎づくりとバランスのとれた食生活を実現するための栄養教育を推進します。	(1) 乳幼児の成長過程に応じた生活リズムの基礎づくりとバランスのとれた食生活に関する教育を、乳幼児健診や離乳食教室、児童館等において実施し、周知を図った。	継続		
2 子どもの規則正しい生活リズムの定着のため、「早寝、早起き、朝ごはん」等の取り組みを推進します。	(1) 学校では、保護者に対し「保健だより」や保護者会を通して、また学校保健委員会や児童生徒保健委員会のテーマとして生活リズムを取り上げ、児童生徒家庭の意識が向上するよう働きかけた。	継続		
	(2) 入学説明会の際に新小学1年生の保護者を対象に、生活リズム改善のリーフレットを配布し啓発を図った。	継続		
	(3) 小学校において、保護者に対し「保健だより」や保護者会を通して、学校の間では学校保健委員会や児童・生徒保健委員会のテーマとして生活リズムを取り上げ、児童・生徒・家庭の意識が向上するよう働きかけた。	継続		
3 家庭、地域、職域等を通じた、朝食や運動習慣、睡眠時間の確保など生活リズムの改善と栄養バランスのとれた食生活についての知識の普及啓発に取り組みます。	(1) 望ましい食習慣獲得をテーマとする親子料理教室や家庭教育学級からの依頼事業を通じて、普及啓発に努めた。 平成30年度実績 親子料理教室：2回実施、参加者45人 家庭教育学級から依頼(栄養教室)：6か所、参加者127人	継続 令和元年度実績 親子料理教室：2回実施、参加者50人 家庭教育学級からの依頼(栄養教室)：5か所、参加者98人		
4 食に関する知識を習得し、望ましい食習慣を身につけ実践できるよう食育を推進します。	(1) 望ましい食習慣獲得をテーマとする親子料理教室や家庭教育学級からの依頼事業を通じて、普及啓発に努めた。 平成30年度実績 親子料理教室：2回実施、参加者45人 家庭教育学級から依頼(栄養教室)：6か所、参加者127人	継続 令和元年度実績 親子料理教室：2回実施、参加者50人 家庭教育学級からの依頼(栄養教室)：5か所、参加者98人		
5 「1食に3つのお皿(主食・主菜・副菜)をそろえよう」「1食に1皿は野菜を食べよう」といった啓発活動に努めます。	(1) 各健診や各栄養教室を通じて、バランスの良い食生活の啓発に努めた。	継続		

6 野菜を取り入れた朝食を食べる習慣をつけられるように周知を進めます。	(1) 栄養教諭・栄養士が教員と連携し、朝食に関する授業を行ない、朝食の大切さを伝えた。 小手指中1年「朝食のススメ」6時間 山口中「1年生「早寝早起き朝ごはん」5時間 泉小5年「バランスのいい朝ごはんを考えよう」1時間 富岡中1年「朝ごはんのパワーを生活に取り入れるには」3時間 伸栄小6「朝食について」6時間 等	栄養教諭・栄養士が教員と連携し、朝食に関する授業を行なった。また、家庭教育学級にて保護者へ朝ごはんの大切さ、野菜を取り入れた給食レシピの紹介をした。 山口中「1年生「朝食の大切さ・成長期の栄養」5時間 安松小家庭教育学級・並木小家庭教育学級「早寝早起きあさごはんについて」各1時間 東中家庭教育学級「おすすめ朝食レシピ」2時間	
	(2) 「給食だより」に、埼玉県が発行している「誰でも作れる朝ごはんメニュー集」から、朝ごはんレシピを紹介した。 年間で各校1回は掲載	継続	
	(3) 入学説明会の際に新小学1年生の保護者を対象に、生活リズム改善のリーフレットを配布し啓発を図った。	継続	
	(4) 小学校において、保護者会を通して、学校の場では学校保健委員会や児童・生徒保健委員会のテーマとして生活リズムを取り上げ、児童・生徒・家庭の意識が向上するよう働きかけた。	継続	
7 野菜をたくさん食べられるメニューや手作りおやつなどの紹介に努めます。	(1) 望ましい食習慣獲得をテーマとする親子料理教室やファミリー食育教室を通じて、普及啓発に努めた。 平成30年度実績 親子料理教室...2回 45人 ファミリー食育教室...10回 246人	継続 令和元年度実績 親子料理教室...2回 50人 ファミリー食育教室...10回 263人	
8 家庭での食事に野菜を取り入れられるよう情報を発信していきます。	(1) 各健診や各栄養教室、まちづくりセンター依頼教育を通じて、啓発に努めた。	継続	
9 食育関係団体との連携を図ります。	(1) 食育の普及啓発や食育推進活動への積極的な参加促すとともに、各関係機関や地域におけるつながりを強化することを目的に「食育イベント」を実施した。 平成30年度実績...2日間 297人	食育の普及啓発の促進のため、各関係機関や地域におけるつながりをさらに強化するための準備期間としたため、食育月間イベントを中止とした。	—
10 保健センターと学校が連携して、児童・生徒や保護者に対する食育を推進します。	(1) 新1年生対象に「食育パンフレット「しっかり学んで、しっかり食べよう」」を配布し、児童期の子どもたちや家庭への食育を図った。	継続	
	(2) 入学説明会の際に新小学1年生の保護者を対象に、生活リズム改善に関するリーフレットを配布し、周知を図った。	継続	
	(3) 家庭教育学級からの依頼教育において、児童・生徒や保護者に対する食育を行った。	継続	
特記事項 1			
委員会コメント欄			

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第3節栄養・食生活

(3)次世代に伝えたい食文化

目標指標		祖父母と孫で調理する料理教室や郷土料理をテーマとした料理講習会の開催	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	次世代に伝えたい食文化の継承について測るための指標です。 引き続き、異世代料理教室や郷土料理講習会等の開催を通じて伝統的な食文化の継承に努めます。		目標 (R元年度)	継続				
			実績 (R元年度)	継続				
実績の算出方法	祖父母と孫で調理する料理教室や郷土料理をテーマとした料理講習会の開催		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	継続

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	0項目	(維持)	10項目
		全12項目	(検討中)	0項目	(未実施)	2項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 保健センター等での料理教室や地域のイベント等の異世代の交流など、地域の食文化の紹介や体験を通じて地域の食の伝承に努めます。	(1) 孫と祖母又は祖父を対象に、食育に関する異世代交流を行い、所沢の食文化の継承を通して、食の大切さや食習慣を身に付けることを目的とした教室を実施した。	継続				
2 地元の食材を活用し、伝統的な料理法で調理された郷土料理を今後も次世代に継承していくため、保健センター等での栄養教育に努めます。	(1) 食の大切さや食習慣を身に付けることを目的とした料理講習会を実施した。 平成30年度実績...6回 127人(親子・異世代・郷土参加者)	継続 6回 134人(親子・異世代・郷土料理教室参加者)				
	(2) 老人福祉センターや保健センターにおいて、郷土料理講習会を実施した。 平成30年度実績...3回 52人	継続 3回 54人				
3 食文化の継承のための活動への支援や異世代交流の推進を図ります。	(1) 孫と祖母又は祖父を対象に、食育に関する異世代交流を行い、所沢の食文化の継承を通して、食の大切さや食習慣を身に付けることを目的とした料理教室を実施した。	継続				
4 給食や行事を通じて、地域の食材や郷土料理、行事食等に触れる機会の推進に努めます。	(1) 給食に地場産食材、特に地場産野菜を積極的に取り入れ、地域への関心や、生産者への感謝の気持ちを育てた。また、単独調理校では学校ファームで栽培した野菜を給食で使用。子どもたちは生産者の苦勞に気づき、残さず食べようという意欲へ繋がった。 平成30年度実績 地場産野菜使用率 学校給食センター10.5% 単独・親子方式調理校19.0%	継続 令和元年度実績 地場産野菜使用率 学校給食センター7.4% 単独・親子方式調理校19.2%				
	(2) 子どもたちへの食文化の継承を目指して、献立に行事食や郷土食を取り入れた。献立表や給食だより等で紹介したり、当日の給食時間に指導し、給食を通して食文化を伝えた。 行事食 (5月)こどもの日、(6・11月)彩の国ふるさと学校給食週間、(7月)七夕献立、 (9月)お月見献立 (12月)冬至献立(1月)七草・まゆだま、(2月)節分、 (3月)ひなまつり 等	継続				
	(3) ファミリー食育教室や郷土料理講習会を通して、所沢の郷土料理や行事食等を実施した。	継続				

5 所産産の野菜を購入できる店の周知や地産地消の推進を図ります。	(1) 所産産農産物の消費拡大を図るため、農産物直売所マップやレシピの作成及び農産物PRイベント等を実施や、農業者団体等の事業を支援することで地産地消の推進を図った。 平成30年度実績 【PRイベントの開催】 5回(体験学習型2回、料理会1回、里芋展示1回、落ち葉掃き1回) 【トコトコ市の開催】 28回(市役所別館広場13回、元町コミュニティー広場15回)	継続 令和元年度実績 【PRイベントの開催】 3回(料理会1回、里芋展示1回、落ち葉掃き1回) 【トコトコ市の開催支援】 25回(市役所別館前広場12回、元町コミュニティー広場13回)	
	(2) 親子料理教室・異世代料理教室を通じて、伝統食材や地産地消の推進に努めた。	継続	
	(3) 食育月間イベントにおいて健康づくり支援課と農業振興課が連携し、所産産の野菜を購入できる店のリーフレットを配布した。	食育の普及啓発の促進のため、各関係機関や地域におけるつながりをさらに強化するための準備期間としたため、食育月間イベントを中止とした。	—
6 食育インストラクターを育成していきます。	(1) 食育全般に幅広い知識を有し、基本的な知識をわかりやすく伝えることができる人材の育成支援を行った	継続	
7 食育を推進する地域の組織を育成するとともに、今後も食育関係団体と連携していきます。	(1) 食生活改善推進員の増加を目的に、食育アドバイザー養成講座を4回コースで実施した。 市内各地区の食生活改善推進員のリーダーを対象に研修会を実施した。	継続 平成30年度の食育アドバイザー養成講座実施後、食生活改善推進員の増加が見込まれたため、令和元年度は食育アドバイザー養成講座は中止とした。	—
特記事項 1			
委員会コメント欄			

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1, 2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進

第3節栄養・食生活

(4)共食の推進

目標指標		誰かと一緒に食べることの大切さの啓発	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	共食の推進について測るための指標です。引き続き、共食の重要性について食育教室等で周知啓発に努めていきます。					*		
実績の算出方法	誰かと一緒に食べることの大切さの啓発		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	継続

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果		取組状況
		全4項目	(改善・充実) 0項目 (検討中) 0項目	
	平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績		
1 家族そろって語りながら楽しく食事をする「共食」を推進するため、料理教室等の栄養教育の機会を通じて、普及啓発に努めます。	(1) 望ましい食習慣獲得をテーマとする親子料理教室や離乳後期の教室を通じて、普及啓発に努めた。 親子料理教室 平成30年度実績...2回 45人	継続	親子料理教室 令和元年度実績...2回 50人	
2 食育月間(6月)、食育の日(毎月19日)等を通じて食育の普及啓発に取り組みます。	(1) 食育の普及啓発や食育推進活動への積極的な参加促すとともに、各関係機関や地域におけるつながりを強化することを目的に「食育イベント」を実施した。 食育月間イベント 平成30年度実績...2日間 297人		食育の普及啓発の促進のため、各関係機関や地域におけるつながりをさらに強化するための準備期間としたため、食育月間イベントを中止とした。	—
3 給食等を通じて、仲間と一緒に食べる楽しさを知り、バランスの良い食事や食事のマナーも習得できるよう指導に努めます。	(1) 栄養教諭・栄養士が教員と連携し、食に関する授業や給食の指導を行い、学校での食育の推進を図った。 平成30年度実績 教科授業・学級活動...学校給食センター対象校:305回 単独・親子方式調理校:582回 給食指導学校給食センター対象校:104回 単独・親子方式調理校:随時	継続	栄養教諭・栄養士が教員と連携し、食に関する授業や給食の指導を行い、学校での食育の推進を図った。 令和元年度実績 教科授業・学級活動...学校給食センター対象校:131回 単独・親子方式調理校:607回 給食指導学校給食センター対象校:101回 単独・親子方式調理校:随時	
4 関係機関と学校が連携し、児童・生徒や保護者に対する食育を推進します。	(1) 児童館や家庭教育学級からの依頼事業により、食に関する知識や健全な食生活等の周知啓発を行った。	継続		

特記事項 1	
委員会コメント欄	

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進

第4節歯・口腔の健康

(1)歯と口の健康意識の向上

目標指標		40歳以下の成人に対する歯科保健に関する情報発信の実施	目標指標達成度	①	A	B	C	D
目標指標の説明	40代から始まる歯の喪失を防止するため、40歳以下の成人に対して歯科保健に関する情報発信について測るための指標です。歯の重要性が伝わるように、様々な機会を捉えて情報発信に努め充実を図ります。					*		
実績の算出方法	40歳以下の成人に対する歯科保健に関する情報発信の実施 令和元実績：歯と口の健康週間行事において、歯と体の健康についてのリーフレットを配布した。また、親子むし歯予防教室を開催し、30歳代の保護者に対しても教育を実施した。			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元
					継続	継続	継続	継続

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果		取組状況
		(改善・充実)	(維持)	
		全7項目	1項目	6項目
		(検討中)	0項目	(未実施) 0項目
	平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績		
1 乳幼児期から、歯と口の健康を意識することの大切さについて啓発に努めます。	(1) 1歳6か月健康診査において、乳幼児期から歯と口の健康を意識することの重要性について啓発することを目的に、歯科相談を実施した。	継続 市内保育園・幼稚園全園にチラシ・ポスターで歯と口の健康週間行事の周知を図ったことにより保健センターへの来場者が増加した。 令和元年度来場者数：1,131人		
2 小学校低学年までは、保護者による仕上げみがきが必要であることの周知を図ります。	(1) 3歳児健康診査での集団指導で、小学校低学年までは、保護者による仕上げみがきが必要であることの周知啓発を行った。	継続		
3 自分の口の状態に合った正しい歯のみがき方の重要性について周知していきます。	(1) 市学校保健会では、「むし歯のない子」の表彰を行った。 平成30年度実績...小学校5年生：1,639人	市学校保健会においては、「むし歯のない子」の表彰を行った。 令和元年度実績...小学校5年生：1,713人		
	(2) 歯と口の健康週間行事のブラッシング指導で、自分の口の状態に合った正しい歯のみがき方の重要性について周知した。	継続		
	(3) 歯と口の健康週間行事において、歯と体の健康についてのリーフレットを配布した。	歯と口の健康週間行事において、各学校へ歯と体の健康についてのポスターを配布した。		
4 生活習慣が、歯周病の原因になるということを広く理解してもらうための情報発信に努めます。	(1) 歯周病予防に関する教育を通して、生活習慣が歯周病の原因になるということを広く理解してもらうための情報発信に努めた。	継続		
5 ライフステージに応じた歯科口腔保健事業を展開し、それぞれの世代に必要な口腔ケアについての正しい知識を身につけられる機会を提供します。	(1) 歯と口の健康週間行事において、それぞれのライフステージに応じたブラッシング指導を行い、正しいブラッシング方法を身につけるための情報発信に努めた。歯と体の健康についてのリーフレットを配布した。	継続		
特記事項 1				
委員会コメント欄				

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進

第4節歯・口腔の健康

(2)口腔内疾病等の予防

目標指標		むし歯のない3歳児の割合	目標指標達成度	㊤	A	B	C	D
目標指標の説明	乳幼児期におけるむし歯の状況について測るための指標です。歯みがきや食生活などの生活習慣を身につけ、定期的な歯科検診を受けることの重要性について周知・学習の機会の提供に努め、平成26年度の割合(83.8%)から令和元年度までに86%を目指すものです。		★					
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の83.8%から令和元年度目標の86%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。91.1%(R元実績)-83.8%(H26実績)=7.3%(R元進捗度) H26~R元までの増減数 86%-83.8%=2.2% R元達成率...7.3%÷2.2%×100=263.6% H29実績 87.3%			目標(R元年度)	86%			
				実績(R元年度)	91.1%			
				各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元
					154.5%	159.1%	263.6%	331.8%

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	0項目	(維持)	4項目
		全4項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 乳幼児期から児童・生徒期、青年期、成人期、高齢期にかけての継続的で切れ目のないむし歯予防・歯周病予防の取り組みの充実を図ります。	(1) 歯と口の健康週間行事において、年齢を問わず希望者に対して歯科検診を実施し、むし歯・歯周病予防の周知、啓発を行った。	継続				
2 むし歯や歯周病について知識の向上や周知を図ります。	(1) 成人に対する歯科健康教育事业において、むし歯や歯周病について知識の向上や周知、啓発を実施した。	継続				
3 むし歯や歯周病が歯の喪失原因となるだけでなく、生活の質や全身の健康に影響を及ぼすことについて考える機会の提供に努めます。	(1) 成人歯科検診の保健指導において、むし歯や歯周病が歯の喪失原因となるだけでなく、生活の質や全身の健康に影響を及ぼすことについて考える機会の提供に努めた。	継続				
4 むし歯、歯周病を予防するためには、定期的な歯科検診が重要です。かかりつけ歯科医を持つだけにとどまらず、年1回以上の定期的な歯科検診を受けることの周知・学習の機会の提供に努めます。	(1) 成人歯科検診において、「歯や口の満足度」と「歯・口の健康度チェックシート」を実施した。自ら生活習慣を振り返り、保健指導を実施した。歯科に関する望ましい生活習慣の啓発と獲得を目指すため、成人歯科検診及び保健指導で、かかりつけ歯科医を持つだけにとどまらず、年1回以上の定期的な歯科検診を受けることの周知・学習の機会の提供に努めた。	継続				
特記事項 1						
委員会コメント欄						

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第4節歯・口腔の健康

(3)口腔機能の維持及び向上

目標指標		「なんでも噛んで食べられる」60歳代の割合(国の指標に基づく)	目標指標達成度	①	A	B	C	D
目標指標の説明	咀嚼機能の維持について測る指標です。口腔機能の維持が身体の健康を保つことにもつながるため、健康な口腔機能を保つために必要な知識の向上や啓発に努め、平成26年度の割合(78.1%)から令和元年度までに80%を目指すものです。			目標(R元年度)	80%			
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の78.1%から令和元年度目標の80%に向けて毎年どの程度進捗したかまで表しています。 実績値：令和元年度所沢市市民意識調査 78.3% $78.3\% (R元実績) - 78.1\% (H26実績) = 0.2\% (R元進捗度)$ H26～R元までの増減数 $80.0\% - 78.1\% = 1.9\%$ R元達成率... $0.2\% \div 1.9\% \times 100 = 10.5\%$			実績(R元年度)	78.3%			
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				—	—	—	10.5%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 0項目	(維持) 3項目	
		全3項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目	
	平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績			取組状況
1 食と歯・口腔の健康の関わりについて学ぶ機会の充実や、健康な口腔機能を保つために必要な知識の向上や啓発に努めます。	(1) 高齢者を対象とした歯科健康教育事业において、食と歯・口腔の健康の関わりについて学ぶ機会の充実や、健康な口腔機能を保つために必要な知識の向上や啓発に努めた。	継続			
2 口腔の健康保持についての普及啓発や、口腔機能の低下と口腔疾患の重症化を防ぐための事業の充実を図ります。	(1) 高齢者を対象とした歯科健康教育事业を通じ、口腔機能の維持及び向上を目的とした普及啓発を行った。また、8020よい歯の表彰式において、口腔の健康保持についての講話、健口体操を実施した。8020よい歯の表彰第一次審査において、10年前に成人歯科検診を70歳で受診した方に対して参加勸奨を行ったことにより、参加者が増加した。	継続			
3 自分で歯を磨くことが難しい方の口腔ケアについて、家族の理解や、正しいケアの仕方等に関する知識の向上や啓発に努めます。	(1) 障害児施設に通園する園児・保護者に、自分で歯を磨くことが難しい方の口腔ケアについて、家族の理解や、正しいケアの仕方等に関する知識の向上や啓発を行った。	継続			
特記事項 1					
委員会コメント欄	令和2年度からの第2次計画の進行管理においても、口腔機能の維持及び向上については、第1次計画同様に「なんでも噛んで食べられる」60歳代の割合を目標指標としているため、毎年度実績値が把握できるよう努められたい。				

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進
第5節予防接種

(1)予防接種に関する知識の普及啓発

目標指標		勸奨通知による、疾病罹患予防の重要性、予防接種の有効性、副反応等の知識の普及啓発の実施	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	接種勸奨通知により、疾病罹患予防の重要性、予防接種の有効性、副反応等について知識の普及啓発を実施していく指標です。引き続き、予防接種に関して知識の普及啓発に努めます。					*		
実績の算出方法	勸奨通知による、疾病罹患予防の重要性、予防接種の有効性、副反応等の知識の普及啓発の実施		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	継続

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 0項目	(維持) 5項目	
		全5項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績			取組状況
1 感染症の流行状況を的確に把握し、広報紙、市ホームページ、幼稚園、保育園、小・中学校を通して市民に正確な情報提供を図ります。	(1) 引き続き、市ホームページや広報紙に感染症に関する情報を掲載して市民への周知を行った。(蚊を媒介する感染症や季節性インフルエンザなど)	継続			
2 予防接種については、国の動きを把握するとともに、予防接種法の改正等に適切に対応していきます。	(1) 予防接種を適正に実施するために、法改正等の情報把握に努めた。	予防接種法施行令の改正により平成31年4月から風しんの定期接種の対象者が拡大されたことに伴い、新たに対象者となった方へ周知を行った。また、改正に対応し、成人用肺炎球菌の定期接種対象者に100歳以上の方を追加した。			
3 市民が健康被害も含め予防接種に関する正しい理解を得られるよう、市ホームページや「健康ガイドところざわ」、勸奨通知等を通じて、情報提供に努めます。	(1) 市ホームページや健康ガイドところざわにより各種予防接種に関する案内を行った。	市ホームページや健康ガイドところざわにより各種予防接種に関する案内を行った。また市立小学校の「保健だより」への勸奨記事の掲載や、所沢図書館の「医療・健康コーナー」においてPR展示を実施した。			
	(2) 接種対象者に送付している個別通知により、ワクチンの効果や副反応に関する情報を提供することで、正しい理解を得たうえで接種を受けられるよう努めた。	継続			
4 所沢市医師会等と連携強化を図り、医療機関に対し適正な予防接種の実施についての情報提供を行います。	(1) 予防接種協力医療機関に対して、「予防接種実施要領」や「予防接種ガイドライン」を送付したほか、予防接種の実施に関する情報を随時提供することにより適正な実施が図られた。	継続			
特記事項 1					
委員会コメント欄	現在、開発が進められている新型コロナウイルスワクチンの有効性や副反応などの基本的な知識については、国等からの通知に基づき、的確かつ迅速に市民への情報提供に努められたい。				

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第1章健康の保持・増進

第5節予防接種

(2)予防接種接種率の向上

目標指標		二種混合予防接種の接種率の向上	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
			★					
目標指標の説明	二種混合予防接種の接種率を示す指標です。 平成26年度の接種率（66.7％）から令和元年度までに接種率75％を目指すものです。		目標 (R元年度)	75%				
			実績 (R元年度)	78.2%				
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の66.7％から令和元年度目標の75％に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 78.2％(R元実績)-66.7％(H26実績)=11.5％(R元進捗度) H26～R元までの増減数 75%-66.7％=8.3％ R元達成率... 11.5％÷8.3％×100=138.6％ H30実績78.0％		各年度の 達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				61.4%	127.7%	136.1%	138.6%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	1項目	(維持)	5項目	
		全6項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
		平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績				取組状況
1 予防接種により国民全体の免疫水準を維持するためには、接種機会を安定的に確保するとともに、必要となる予防接種を積極的に勧奨し、社会全体として一定の接種率を確保するよう努めます。	(1) 定期接種の対象者に個別通知を送付。また、市ホームページや広報紙による周知、未接種者への勧奨通知送付により接種率の向上に努めた。	継続 成人用肺炎球菌の未接種者に勧奨通知を送付した。 風しん抗体検査・定期接種の対象者へクーポン券を送付。市HPや広報の他、商工会議所広報誌にお知らせを掲載し周知を図った。					
2 生後2か月前に、予防接種に関する説明文書、各種予診票、冊子「予防接種と子どもの健康」を送付する等、積極的勧奨を継続していきます。	(1) 生後2か月になる前に、1歳までの間に開始する予防接種の予診票と併せて、予防接種に関する説明文や小冊子を同封して送付し、勧奨を行った。	継続					
3 新生児・妊産婦訪問、乳幼児健康診査時の指導、各種講座や教室での説明を継続しながら、直接助言をすることで、予防接種の接種率の向上に努めます。	(1) 保健師による訪問指導や乳幼児健診の際に、定期接種の接種状況を確認し、未接種のものについて勧奨を行った。	継続					
4 接種対象者が小・中学生である場合は、学校保健と連携した接種勧奨を行うとともに、麻しん風しん混合(2期)については、未接種者にはがきによる勧奨を実施して接種率の向上に引き続き努めます。	(1) 保健給食課と連携し、就学時健康診断時に、保護者に予防接種勧奨チラシを配布して、未接種のものがあれば接種するよう周知を行った。また、麻しん風しん混合予防接種(第2期)の未接種者に勧奨はがきを送付し、接種率の向上に努めた。(平成30年度:622通)市立小学校の新小学6年生向けに日本脳炎・二種混合の勧奨通知を作成し、配布した。	継続 令和元年度実績 麻しん風しん未接種者勧奨:661通					
	(2) 就学時健康診断時に入学予定児童の保護者に対して、予防接種関係通知の配布及び周知を行い、小学校入学前に麻疹風疹の混合ワクチンを接種しておくよう働きかけを行った。小学校の保健だよりにおいて、小学校在学中に接種対象年齢を迎える定期予防接種について勧奨を行った。	継続					
5 適正な予防接種が実施できるよう所沢市医師会及び市内協力医療機関に情報提供を行います。	(1) 予防接種協力医療機関に対して、「予防接種実施要領」や「予防接種ガイドライン」を送付したほか、予防接種の実施に関する情報を随時提供することにより適正な実施が図られた。	継続					

特記事項 1	
委員会コメント欄	

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第2章 早期発見・治療とリハビリテーション
第1節 生活習慣病

(1)がん

目標指標		胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の受診率	目標指標達成度	㊤	A	B	C	D
目標指標の説明	各がん検診の受診率を示す指標です。平成26年度に実施した各がん検診を受診した人の割合（胃がん3.6%、肺がん4.3%、大腸がん16.0%、乳がん21.0%、子宮頸がん23.9%）から、令和元年度までに各がん検診の受診率向上を目指すものです。							*
実績の算出方法	各がん検診の受診率 ・胃がん...現状3.6%、目標値10.0%、R元年度2.2%、達成度-17.9%(D) ・肺がん...現状4.3%、目標値10.0%、R元年度1.7%、達成度-31.3%(D) ・大腸がん...現状16.0%、目標値21.0%、R元年度7.8%、達成度-62.1%(D) ・乳がん...現状21.0%、目標値35.0%、R元年度9.8%、達成度-44.4%(D) ・子宮頸がん...現状23.9%、目標値35.0%、R元年度10.6%、達成度-92.4%(D)		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				平均	平均	平均	平均	
				-14.8%	-103.8%	-94.3%	-49.6%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	1項目	(維持)	7項目	
		全8項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
		平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績				取組状況
1 「埼玉県がん対策推進計画」(平成25年度～29年度)では、がんと診断された時からの緩和ケアの推進を謳っています。県、所沢市医師会及び医療機関と連携し、市ホームページ等を通じて、がんに関する情報や市内の医療機関、医療資源に関する情報提供を進めます。	(1) 市ホームページや広報紙等でがんやがん検診に関する情報提供を行い、国立がん研究センターのホームページへのリンク等によるがん予防に関する情報提供を行った。	継続					
2 関係医療機関や市医師会と連携し、がん検診の受診に向けた普及啓発のほか、引き続き市ホームページ等を通じた啓発を進めます。	(1) 協賛型タウンメールを活用し、スマートフォンから検診の申込ができるはがきを送付した。市立小学校の新小学6年生の保護者向けにがん検診の勧奨通知を作成し、配布した。広報とこざわ等での周知に加え、行政回覧、コミュニティビジョン、デジタルサイネージ等を利用したがん検診に関する周知を行った。広報とこざわ6月号で特集を組み、がん及びがん検診の周知・啓発を行った。	継続	新小学6年生の保護者向けがん検診の勧奨通知の作成・配布は未実施。特定健診未受診者に対しては、がん検診の案内も含めた受診勧奨ハガキを作成・送付し、受診率向上を図った。				
	(2) 20歳、25歳、30歳を迎える女性市民に、子宮頸がんについてのリーフレットと受診券を送付した。	継続					
	(3) 健康まつりにおいて、所沢市医師会理事によるがんに関する講演会を実施し、市民への普及啓発を行った。	所沢図書館において「健康・医療コーナーPR展示」を実施し、がん検診の周知、勧奨を図った。また、健康まつりにおいて、生活習慣病と糖尿病に関する講演会を実施した。					
3 がん予防健康教育内容の充実を図ります。	(1) 健康まつりにおいて、所沢市医師会理事によるがんに関する講演会を実施し、市民への普及啓発を行った。	所沢図書館において「健康・医療コーナーPR展示」を実施し、がん検診の周知、勧奨を図った。また、健康まつりにおいて、生活習慣病と糖尿病に関する講演会を実施した。					
4 平成26年度の本市の各がん検診の受診率を見ると、「子宮頸がん」が23.9%と最も高く、「胃がん」は3.6%と最も低くなっています。関係医療機関や所沢市医師会と連携し、各検診の精度と受診率の向上を図ります。	(1) 40歳、50歳、60歳、70歳を迎える市民に、勧奨通知として各種検診の案内と共に切手不要の申込はがきを送付し、受診率の向上を図った。	継続					

5 引き続き、禁煙・受動喫煙防止を図るため、地域や職域での健康教育に努めます。	(1) 受動喫煙に関するリーフレット「家族おもいのあなたへ～たばこの害は周囲の人の健康にも影響を及ぼします」、「従業員おもいの事業主様へ～知っていますか？受動喫煙のこと」を配架し、また、市ホームページにも掲載して周知啓発に努めた。	継続																																				
6 今後の国の指針や、死亡原因の動向を鑑みながら、随時検診事業内容の検討や見直しを進めます。	(1) 当該年度に50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳を迎える男性市民を対象に前立腺がん検診を実施した。 平成30年度実績...受診者数2,929人 受診率19.1%	継続 令和元年度から、胃がん検診に内視鏡検査(個別検診)を実施した。 令和元年度実績 ... 受診者数:3,146人 受診率:20.3%)																																				
特記事項 1	<p>・平成28年11月30日付厚生労働省健康局がん・疾病対策課通知(健が発1130第1号)「市町村におけるがん検診の受診率の算定方法について」より、対象者の算定方法が平成28年度の算定方法から変更となり、地域保健・健康増進事業報告に基づき算出した結果、平成28年度に比べ、検診対象者が、胃がん、肺がん、大腸がんは約95,000人、乳がん検診は約37,000人、子宮頸がん検診は約63,000人増加したため、受診率が著しく低い結果になっている。</p> <p>参考:保健医療計画に記載の目標指標にある現状(H26年度)と目標(R元年度)の数値を平成28年度の算定方法で再計算した場合</p> <table border="1" data-bbox="282 488 1160 703"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状(H26年度)</th> <th>目標(R元年度)</th> <th>R元年度受診率</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>1.9%</td> <td>5.3%</td> <td>2.2%</td> <td>9.7%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>2.3%</td> <td>5.3%</td> <td>1.7%</td> <td>-16.7%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>8.5%</td> <td>11.1%</td> <td>7.8%</td> <td>-21.2%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>13.5%</td> <td>22.5%</td> <td>9.8%</td> <td>-29.1%</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>13.4%</td> <td>19.6%</td> <td>10.6%</td> <td>-31.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成度平均</td> <td>-17.7%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	現状(H26年度)	目標(R元年度)	R元年度受診率	達成度	胃がん	1.9%	5.3%	2.2%	9.7%	肺がん	2.3%	5.3%	1.7%	-16.7%	大腸がん	8.5%	11.1%	7.8%	-21.2%	乳がん	13.5%	22.5%	9.8%	-29.1%	子宮頸がん	13.4%	19.6%	10.6%	-31.1%				達成度平均	-17.7%
指標名	現状(H26年度)	目標(R元年度)	R元年度受診率	達成度																																		
胃がん	1.9%	5.3%	2.2%	9.7%																																		
肺がん	2.3%	5.3%	1.7%	-16.7%																																		
大腸がん	8.5%	11.1%	7.8%	-21.2%																																		
乳がん	13.5%	22.5%	9.8%	-29.1%																																		
子宮頸がん	13.4%	19.6%	10.6%	-31.1%																																		
			達成度平均	-17.7%																																		
委員会コメント欄																																						

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第2章 早期発見・治療とリハビリテーション
第1節 生活習慣病

(2) 脳卒中・急性心筋梗塞

目標指標		国保データベース(KDB)システムにて、特定健康診査の結果、収縮期血圧130mmHg以上の人の割合	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明		収縮期血圧130mmHg以上は保健指導判定値であり、収縮期血圧が高値になると脳卒中や急性心筋梗塞の発症の要因になるため、生活習慣を見直すことで改善が期待されます。 平成26年度実績の男性52.1%、女性46.3%から令和元年度までに男性49%、女性43%を目指すものです。					*	
実績の算出方法		特定健康診査の結果、収縮時血圧130mmHg以上の人の割合 男性...52.1% (H26現状) 49% (R元目標) 50.6% (R元実績) - 52.1% (H26現状) = -1.5% (進捗度) -1.5 ÷ -3.1 × 100 = 48.4% 女性...46.3% (H26現状) 43% (R元目標) 44.9% (R元実績) - 46.3% (H26現状) = -1.4% (進捗度) -1.4 ÷ -3.3 × 100 = 42.4%	各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
			目標 (R元年度)	特定健康診査受診者のうち男性49.0%女性43.0%				
			実績 (R元年度)	男性50.6%女性44.9%				
				男性41.9% 女性39.4%	男性71% 女性36.4%	男性48.3% 女性48.5%	男性48.4% 女性42.4%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	0項目	(維持)	11項目	
		全11項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
	平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績				取組状況	
1 年に1度は健康診査を受ける習慣をつけるように普及啓発します。	(1) 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～るを活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。 埼玉西武ライオンズの選手を起用したポスターを作成し、特定健診の周知を図った。 所沢シティマラソンでのイベント参加が会場の都合により不可能であったため、代わりにとこしゃんまつり等でのPR活動を実施。 (2) 所沢商工会議所の会報誌「sora」へ受診勧奨ポスターを折り込み、会員へ配布。店舗等で掲示してもらうことで、普及啓発を行った。 (3) 市民健康大学や健康ナイスミドル講座等の成人保健事業および各地区担当保健師が行う地区活動において、自らの健康状態の経年的な変化を確認するために、年に1度は健診受診するように促した。 (4) 健康まつりや健康増進普及月間等のイベントにおいて、経年的な変化を確認するために、年に1度は健診受診するように促した。	継続	継続 健診結果説明会や健康美人セミナーにおいても年1度の健診受診を促した。 事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。				
2 所沢市国民健康保険加入者については、関係医療機関や所沢市医師会と連携して特定健康診査や特定保健指導の普及啓発を行います。	(1) 医師会加入の医療機関へ特定健康診査受診勧奨のためのポスター、立体トコろんPOP等を配布し、普及啓発を行った。 特定保健指導の事業案内チラシを作成し、医療機関による配布を依頼した。	継続					
3 生活習慣病予防のための健康づくりの方法について情報提供を進めます。	(1) 保健センターの相談事業を通じて生活習慣病予防についての情報提供を行った。 (2) 特定健診の結果により、情報提供・動機付け支援・積極的支援の階層化を行い、それぞれの層に相応しい生活習慣改善のための特定保健指導を実施した。また、情報提供に階層化された方への支援については、要指導域の方へは健康まつりの案内を行い、要医療の方へは、国民健康保険課から、受診勧奨を、個別通知にて行った。	継続	継続				

3 生活習慣病予防のための健康づくりの方法について情報提供を進めます。	(3) 「血管アンチエイジングセミナー」を実施することにより、自宅の味噌汁の塩分濃度の測定や血圧測定の正しい方法等の周知、及び普段から血圧を意識できるような働きかけを行った。ただし、これらの取り組み成果は、検査データに変化が表れるまで一定の期間を要すると思われる。「血液さらさら教室血圧編」は、血糖編および脂質編を含めて血液アンチエイジングセミナーとし、血圧の自己管理についての周知を拡大した。	「血管アンチエイジングセミナー」を「血液若返りセミナー」と名称を変更して実施した。	
4 市ホームページ等を通じて、脳卒中や急性心筋梗塞に関する正しい知識、さらには生活習慣病の予防や危険因子の管理の重要性などの情報提供に努めます。	(1) 健康相談や健康教室、講演会を通じて脳卒中、急性心筋梗塞などに関する正しい知識の情報提供を行った。	継続	
5 埼玉西部消防局や関係機関と連携し、心肺蘇生法も含めたAEDの使用方法に関する周知啓発を進めます。	(1) 地域の自主防災訓練やPTA、小中学校等において、埼玉西部消防局や所沢市消防団により、心肺蘇生法を含めたAEDの使用方法についての訓練を行った。	地域の自主防災訓練やPTA、小中学校等において、埼玉西部消防局や所沢市消防団により、心肺蘇生法を含めたAEDの使用方法についての訓練を行った。 令和元年度実績 講習回数：143回 受講者数：5,896名	
	(2) 平成30年11月から運用が始まった所沢市地理情報システム(GIS)で、市内のAED設置場所の情報を公開した。	継続	
特記事項 1			
委員会コメント欄			

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第2章 早期発見・治療とリハビリテーション
第1節 生活習慣病

(3) 糖尿病

目標指標		国保データベース(KDB)システムにて、特定健康診査の結果、空腹時血糖値100mg/dl以上の人の割合	目標指標達成度	㊤	A	B	C	D
目標指標の説明	空腹時血糖値100mg/dl以上は、保健指導判定値であり、医療が必要となる前段階からの生活習慣により、糖尿病へ移行する人を減らすことで、糖尿病腎症による人工透析の導入者を減らすことにつながるため、生活習慣を見直すことで改善が期待できます。 平成26年度実績の男性37.2%、女性23.5%から令和元年度までに男性35%、女性20.5%を目指すものです。							*
実績の算出方法	特定健康診査の結果、空腹時血糖値100mg/dl以上の人の割合 男性...37.2% (H26現状) 35% (R元目標) 40.3% (R元実績) - 37.2% (H26現状) = 3.1% (進捗度) 3.1% ÷ -2.2% × 100 = -140.9% 女性...23.5% (H26現状) 20.5% (R元目標) 25.3% (R元実績) - 23.5% (H26現状) = 1.8% (進捗度) 1.8% ÷ -3% × 100 = -60%			目標 (R元年度)	特定健康診査受診者のうち男性35.0%女性20.5%			
				実績 (R元年度)	男性40.3%女性25.3%			
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				男性-90.9% 女性-23.3%	男性-122.7% 女性-16.7%	男性-154.5% 女性-160%	男性-140.9% 女性-60%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	1項目	(維持)	13項目	
		全14項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
			令和元年度主な取組実績				取組状況
	平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 糖尿病は重症化すると合併症を発症することがあり、重症化の予防などについて、市ホームページや健康相談・健康講座等を通じて糖尿病に関する正しい知識の普及や情報提供を行います。	(1) 地区活動において、糖尿病を予防する必要性について意識的に情報提供に努めた。 保健センターの相談事業を通じて糖尿病予防に関する情報提供を行った。 (2) 特定健診受診者に対し、血糖値に特化した血管アンチエイジングセミナーを開催し、生活習慣改善のための特定保健指導を実施した。 平成30年度実績...参加者:79人	継続			特定健診受診者に対し、血糖値を含めた動脈硬化に特化した「血液若返りセミナー」(「血管アンチエイジングセミナー」から名称変更)を開催し、生活習慣改善のための特定保健指導を実施した。 令和元年度実績...参加者:79人		
2 年に1度は健康診査を受ける習慣をつけるように普及啓発します。	(1) 健診の情報が印刷された自治会・町内会用の回覧板を作成し配布。また、他課と連携し、かもめ～るを活用し、がん検診の案内と併せて特定健診の周知を図った。 埼玉西武ライオンズの選手を起用したポスターを作成し、特定健診の周知を図った。 所沢シティマラソンでのイベント参加が会場の都合により不可能であったため、代わりにとこしゃんまつり等でのPR活動を実施。 (2) 所沢商工会議所の会報誌「sora」へ受診勧奨ポスターを折り込み、会員へ配布。店舗等で掲示してもらうことで、普及啓発を行った。 (3) 市民健康大学や健康ナイスミドル講座等の成人保健事業および各地区担当保健師が行う地区活動において、自らの健康状態の経年的な変化を確認するために、年に1度は健診受診するように促した。健診結果説明会を新規で実施した。 (4) 健康まつりや健康増進普及月間等のイベントにおいて、経年的な変化を確認するために、年に1度は健診受診するように促した。	継続			所沢市国民健康保険の被保険者を対象とした特定健康診査について、埼玉西武ライオンズの選手を起用したポスターや、ほっとメールを活用した受診勧奨、健康まつりやとこしゃんまつり等のイベント時に制度のPR活動を実施した。		
		継続			健診結果説明会や健康美人セミナーにおいても年1度の健診受診を促した。 事業の目的を達成したことから健康ナイスミドル講座は平成30年度で事業を終了した。		
		継続			健康まつりでは医師会の協力を得て、新たに血糖値測定を実施するとともに、健診の重要性を周知した。		

3 所沢市国民健康保険加入者については、関係医療機関や所沢市医師会と連携して特定健康診査や特定保健指導の普及啓発を行います。	(1) 医師会加入の医療機関へ特定健康診査受診勧奨のためのポスター、立体トコロンPOP等を配布し、普及啓発を行った。	継続	
	(2) 特定保健指導の事業案内チラシを作成し、医療機関による配布を依頼した。	継続	
4 生活習慣病予防のための健康づくりの方法について情報提供を進めます。	(1) 保健センターの相談事業を通じて情報提供を行った。健診結果説明会を新規で実施した。 平成30年度実績：9日(18回)開催、781名参加	継続 令和元年度実績：8日(16回)開催、510名参加	
	(2) 特定健診の結果により、生活習慣改善のための特定保健指導を実施した。未利用者への訪問(電話勧奨が行えなかった対象者について全戸訪問)や講習会や測定会を開催する等(平成30年度11回)、未利用者に対する勧奨に注力した。	特定健診の結果により、生活習慣改善のための特定保健指導を実施した。未利用者に対する訪問(電話勧奨が行えなかった対象者について全戸訪問)や講習会、測定会を開催する等(令和元年度12回)、勧奨に注力した。	
	(3) 「血管アンチエイジングセミナー」を実施することにより、保健師・栄養士の講話に加え、歯科衛生士による血糖値と歯周病の講話・実技を追加した。ただし、これらの取り組み成果は、検査データに変化が表れるまで一定の期間を要すると思われる。平成30年度実績...参加者:79人	特定健診受診者に対し、血糖値を含めた動脈硬化に特化した「血液若返りセミナー」(「血管アンチエイジングセミナー」から名称変更)を開催し、生活習慣改善のための特定保健指導を実施した。 令和元年度実績...参加者：79人	
5 保健センターでは、引き続き血糖値が高めの方を対象に個別相談を行っていきます。	(1) 保健センターにて、保健師・栄養士による血糖値に関する個別相談を、第2・4月曜日に実施している。	継続	
6 所沢市国民健康保険加入者に対しては、引き続き特定健康診査結果等のデータから、糖尿病重症化リスクの高い医療未受診者・受診中断者を抽出し医療に結び付けていきます。また、糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い方には生活指導を行い、人工透析への移行を防止する事業を実施します。	(1) 糖尿病治療中の患者のうち重症化リスクの高い通院患者への保健指導を実施した。保健指導の参加者を確保すべく、案内通知発送後に、再度、未回答者へハガキによる個別の参加勧奨を行った。 平成30年度実績...保健指導:50人	継続 令和元年度実績...保健指導：65人	
	(2) 医療機関未受診者及び受診中断者への受診勧奨を行った。受診勧奨後、一定期間経過後も受診記録がない方に対して、再度の受診勧奨を行った。 平成30年度実績...受診勧奨:158人 (未受診者向け:131人、受診中断者向け:27人)	継続 令和元年度実績...受診勧奨：164人 (未受診者向け：140人、受診中断者向け：24人)	
特記事項 1			
委員会コメント欄			

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第2章早期発見・治療とリハビリテーション
第2節精神疾患

(1)認知症

目標指標		認知症サポーター養成講座受講者数	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	認知症に対する市民の理解と知識の高まりを示す指標です。 平成26年度に実施した認知症サポーター養成講座受講者数(2,694人)から令和元年度までに毎年3,000人を目指すものです。			目標 (R元年度)	3,000人			
				実績 (R元年度)	2,153人			
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の2,694人から令和元年度目標の3,000人に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 2,153人(R元実績)-2,694人(H26実績)=-541人(R元進捗度) H26~R元までの増減数 3,000人-2,694人=306人 H30達成率...-541÷306×100=-176.8%			各年度の 達成率(状況)	H28 61.1%	H29 -154.6%	H30 -221.6%	R元 -176.8%

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	0項目	(維持)	6項目	
		全6項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
		平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績				取組状況
1 関係機関と連携して認知症に関する普及啓発のほか、引き続き市ホームページ等を通じた啓発を進めます。	(1) 認知症サポーター養成講座を開催した。 平成30年度実績...2,016名 (2) 市ホームページで認知症に関する啓発情報を提供した。	認知症サポーター養成講座を開催した。 令和元年度実績：2,153名 継続					
2 認知症発症後の円滑な初期支援のため多職種の連携による認知症初期集中支援チームの設置に関する検討を行います。	(1) 認知症サポート医や認知症の専門知識を有する看護師等の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」を運営した。 (2) 地域包括支援センターの職員を対象に勉強会を開催した。	認知症サポート医や認知症の専門知識を有する看護師等の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」が支援対象者やその家族に対し訪問・電話による支援や関係者間での会議開催等を行い、適切な支援につなげるためのアプローチを行った。 認知症初期集中支援チームと地域包括支援センター職員とで会議を持ち、活動状況の共有等を行った。					
3 住み慣れた地域で適切な医療や介護サービスを切れ目なく受けることができる認知症ケアパスの構築の検討を進めます。	(1) 所沢市の認知症あんしんガイドについて、認知症初期集中支援事業の項目を追加した。	所沢市薬剤師会加盟薬局に認知症あんしんガイドを配架した。 各地区の認知症地域支援推進員と連携を図り、認知症あんしんガイドの普及・啓発に努めた。					
4 多職種の専門職間で学べる機会の提供や、認知症に関する研修会の開催を進めます。	(1) 市主催の「ねたきり認知症予防講演会」や、地域包括支援センターが各地域で開催する介護予防講演会や介護予防教室等において、認知症に関する講演会等を開催した。	各地域の地域包括支援センターや所沢市みんなのカフェ(認知症カフェ)で認知症をテーマに講演会や教室等を開催した。					
特記事項 1							
委員会コメント欄							

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第2章早期発見・治療とリハビリテーション
第2節精神疾患

(2)うつ病・統合失調症等

目標指標		こころの健康講座等参加者数	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
			★					
目標指標の説明	精神障害及び精神障害者に対する市民の理解と知識の高まりを示す指標です。 平成26年度に実施したこころの健康講座等の参加人数(2,260人)から令和元年度までに2,700人を目指すものです。		目標 (R元年度)	2,700人				
			実績 (R元年度)	3,334人				
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の2,260人から令和元年度目標の2,700人に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 3,334人(R元実績)-2,260人(H26実績)=1,074人(R元進捗度) H26~R元までの増減数 2,700人-2,260人=440人 H30達成率...1,074÷440×100=244.1%		各年度の 達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				360.2%	226.9%	143.0%	244.1%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	0項目	(維持)	5項目	
		全5項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
		平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績				取組状況
1 市ホームページ等を活用し、精神保健福祉に関する情報提供などを継続します。	(1) 発達障害と生きていくためのサポートガイド(リソースブック)を2,000部作成し、配布した。 精神保健福祉に関する情報提供を目的に、こころの健康ガイドブックを窓口配布するほか、精神科医療機関等の関係機関に配布した。ホームページにおいても精神保健福祉に関する情報提供を行った。	令和2年度に所沢精神保健ガイドブック『はあとこガイド』を作成するための予算措置等の準備を行った。					
2 精神疾患やこころの健康問題に関する講演会や、当事者・家族に関する講座等の普及啓発を進めます。	(1) 市役所1階ロビーにて、所沢こころの美術展を実施した。平成30年度の来場者は2,533人であり、市民に対して精神障害の正しい知識の普及を図った。	精神障害に関する普及啓発事業として、市役所1階ロビーにて所沢こころの美術展を開催した。 令和元年度実績...来場者：2,849人					
3 精神疾患の再発予防や社会からの孤立を防ぐことを目的とし、精神疾患がある当事者及び家族のつどいを継続して実施します。また、家族会等と連携していきます。	(1) 週1回木曜日に精神障害者地域生活支援事業としてサロン(精神障害者を対象とした交流、情報交換の場)を実施した。(全49回実施 503人参加) 強迫性障害、発達障害家族のつどいを実施した。平成30年度実績...全24回実施 合計205人参加	継続 令和元年度実績 サロン：全46回実施 437人参加 強迫性障害、発達障害家族のつどい：全22回実施 合計157人参加					
4 精神疾患の当事者やその家族が住み慣れた地域で生活できるよう支援を進めるため、精神保健相談を継続して進め、訪問看護ステーションや医療機関との連携を図ります。	(1) 平成30年度こころの健康支援室の保健師、精神保健福祉士が対応した延べ支援件数は8,029件であり、必要に応じて精神科医療機関や訪問看護ステーション等と連携し支援を行なった。また、相談者の状況にあわせ、必要に応じ夜間帯や休日などに面接や訪問支援を実施した。	こころの健康支援室の精神保健福祉士が対応した延べ支援件数は7,442件であり、必要に応じて精神科医療機関や訪問看護ステーション、福祉事業所等と連携し支援を行なった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月は面接や訪問支援は減少したが、新型コロナウイルス関連問題による不安解消のための電話相談の増加が見込まれたため、4月以降コロナ電話相談を実施できるよう検討した(3月実績：28件)					
5 未治療者や治療を中断している患者等に対し、引き続き精神科医や看護師等の専門職がチームを組み、必要に応じて、アウトリーチ(訪問)支援を行うことにより、新たな入院及び再入院を防ぎ、地域生活が維持できるよう支援を行います。	(1) 重篤な精神障害者の地域生活支援を実施する「精神障害者アウトリーチ支援事業」を実施した。平成31年3月末現在で支援対象者が73人、年間の延べ支援件数は6,910件であり、重篤な精神障害者への支援は充実してきている。	精神障害者アウトリーチ支援事業を継続して実施した。令和元年3月末現在の支援対象者76人であり年間の延べ支援件数は8,159件だった。					

特記事項 1	
委員会コメント欄	

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第2章早期発見・治療とリハビリテーション
第2節精神疾患

(3)自殺防止対策

目標指標		思春期こころの健康相談の相談者数	目標指標達成度	①	A	B	C	D
目標指標の説明	18歳までの方等を対象とした思春期こころの健康相談の相談者数を示す指標です。 平成26年度に実施した思春期こころの健康相談での延べ相談者数(20人)から令和元年度までに延べ相談者数30人を目指すもの です。		目標 (R元年度)	30人				
			実績 (R元年度)	20人				
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の20人から令和元年度目標の30人に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 20人(R元実績)-20人(H26実績)=0人(R元進捗度) H26-R元までの増減数 30人-20人=10人 R元達成率...0÷10×100=0%		各年度の 達成率(状況)	H28 50.0%	H29 80.0%	H30 -20.0%	R元 ±0%	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 0項目	(維持) 5項目	
		全6項目	(検討中) 0項目	(未実施) 1項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績			取組状況
1 自殺防止対策として、当事者や家族を対象とした「つどい」や「こころの健康メール相談」「うつ病特別相談日」などの取り組みを継続します。	(1) うつ病のつどい(当事者、家族、夜のつどい 3グループ)を36回実施し、258人が参加した。また、こころの健康メール相談は85件	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の事業は中止とした。うつ病のつどい(当事者、家族、夜のつどい 3グループ)を33回実施し245人参加した。またこころ健康のメール相談は135件だった。			
	(2) うつ病特別相談日(毎月第1月曜日)においては保健師、精神保健福祉士が担当し、必要に応じて医療機関の紹介や各種情報提供を実施した。(12日間実施 相談件数19件)	継続 令和元年度実績...12日間実施、相談件数：21件			
2 市ホームページにアクセスすることで、こころの健康状態を知ることができる「こころの体温計」の取り組みを継続するとともに、自殺防止やこころの健康問題に関する講演会や、市のホームページを活用した情報提供を進めます。	(1) パソコンや携帯電話から利用でき、自分のこころのストレス状況とおちこみ度を知ることができる「こころの体温計」のコンテンツや、市ホームページにこころの健康とストレスについての情報提供を行った。こころの体温計の総アクセス数は71,020件。うつ病に関する講演会を実施し75人が参加	継続 令和元年度実績 こころの体温計総アクセス数：64,205件 うつ病に関する講演会：99人参加			
3 狭山保健所等の関係機関と連携して自殺防止に関する普及を進めます。	(1) 埼玉県や西武鉄道と連携し、所沢駅改札にて自殺防止に関する駅前キャンペーンを実施した。また3月の「自殺対策強化月間」に、市役所1階市民ホールにおいて、自殺防止に関するパネル展を開催した。	新型コロナウイルス感染拡大防止により実施せず。			—
4 主に高校生を対象とした思春期こころの健康相談事業を継続します。	(1) 思春期こころの健康相談を10回実施し、延べ18人の相談を受付けた。また、必要に応じて高校へも訪問し、養護教諭や担任の教師との連携を図った。	継続 令和元年度実績 思春期こころの健康相談：12回実施 延べ20人の相談を受付けた。			
5 自死遺族の自殺防止及び社会からの孤立防止を目的とした「自死遺族のつどい」を継続します。	(1) 自死遺族支援のため、遺族のつどい「わかちあいの会」を偶数月第2土曜日午後開催した。(年間5回開催、参加者数67人) これにより、自死遺族の気持ちの分かち合いができ、気持ちの安定を図ることができている。	継続 令和元年度は年間5回開催、参加者数66人だった。			

特記事項 1	
委員会コメント欄	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施を見送った事業等について、新型コロナウイルス感染症の収束後は、感染症対策を徹底したうえで再開されたい。

1「目標指標」「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第2章早期発見・治療とリハビリテーション

第3節リハビリテーション

(1)リハビリテーション

目標指標		リハビリテーション分野における保健・医療・介護・福祉の関係課・関係機関との研修会の実施	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	リハビリテーションに関する取り組み状況を示す指標です。各分野関係課、関係機関との研修会を実施し、地域リハビリテーション体制の整備を目指すものです。					*		
実績の算出方法	リハビリテーション分野における保健・医療・介護・福祉の関係課・関係機関との研修会の実施 R元実績：リハビリ連絡会運営会議：年間3回、のべ参加者31名、リハビリ連絡会：のべ115名参加、ブロック交流会・小規模学習会：年間2回、のべ62名参加、リハビリテーション、保健センター事業のリーフレット配布		各年度の達成率(状況)	H28 実施	H29 実施	H30 実施	R元 実施	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 2項目	(維持) 8項目
		全10項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目
	平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績		
1 リハビリテーションについて、相談しやすい体制づくりに努めます。	(1) 「自分でできる姿勢チェック」のリーフレット作成し、相談時に利用・配布した。 相談者の枠を若い方にも広げるため、姿勢・骨盤のゆがみに着目し、産後の女性の相談にも対応した。 加齢や病気、外傷により心身機能・歩行機能が低下している方への予約制相談を行った。 「腰痛予防のための運動」のリーフレットを作成し、相談時に配布した。	まちづくりセンターで開催する乳幼児健康相談に理学療法士も参加し、保護者に対して健康相談を実施した。8回 のべ74人。 健康まつりでは、医療センター理学療法士の協力のもと姿勢チェックコーナーを実施した。		
	(2) 随時電話や面接による相談に対応した。	継続		
2 機能回復訓練だけでなく、当事者やその家族などが、地域での活動や交流などを通じ、生活の質の向上を目指し、社会復帰や社会参加の促進による自己実現のための機会の提供に努めます。	(1) 脳血管疾患・神経難病・高次脳機能障害等を持つ当事者およびその家族の交流、地域社会での自立と社会参加を促すことを目的とした教室やつどいを実施した。	継続		
3 「所沢市リハビリ連絡会」を開催し、保健・医療・介護・福祉等の現場で働くリハビリ職の連携による地域リハビリテーションの推進に向けて、関係課、関係機関、専門職との情報交換や研修会等の実施に努めます。	(1) 所沢市リハビリ連絡会運営会議を市内の病院施設などのリハビリ専門職により開催した。 平成30年度実績...年間5回開催、延べ参加人数19人	継続 令和元年度実績：3回開催、のべ参加者31名、自主的な運営が行えるようになった。		
	(2) 庁内の関係課とリハビリに関する情報交換を行った。会議の開催は行わなかったが、各ケースについて、関係課と適宜情報交換等を実施。	継続		
	(3) 平成31年2月に「所沢市リハビリ連絡会」を開催し、市内リハビリ機関リハビリ職を対象に研修を行った。(参加者104名)	令和2年2月に、リハビリテーション専門職及びその他の支援者の方々(居宅介護支援事業所・地域包括支援センターなど)にも声掛けし研修会を行った。のべ115名参加		
	(4) 並木・富岡・柳瀬地区ブロック交流会を開催し、模擬地域ケア個別会議の見学・リハビリテーション専門職の情報交換を行った。 平成30年度実績...1回開催、参加人数37名	山口・吾妻・三ヶ島・小手指地区と所沢・松井・並木・富岡・柳瀬・新所沢地区の2つに分かれてブロック交流会・小規模学習会実施 年間2回、のべ62名参加		

4	市ホームページ等を通じた啓発を継続するとともに、関係団体や関係課と連携してリハビリテーションに関する普及啓発に努めます。	(1) 市ホームページに、まちづくりセンターとリンクさせて地域リハビリ交流会について掲載した。	市ホームページの掲載内容の見直しを行った。 リハビリ関連事業について、チラシを作成し関係機関などに配付した。	
		(2) 普及啓発の方法について所沢市リハビリ連絡会運営会議にて検討を行った。	継続	
5	リハビリテーションを希望する方が必要な情報の取得や相談ができるよう、地域のリハビリテーション資源の把握と情報提供に努めます。	(1) 市内のリハビリテーション資源について調査を実施し、リハビリ専門職の方に「リハビリ実施施設一覧」を配布した。施設の状況に合わせ、改訂版の作成を検討した。	継続	
特記事項 1				
委員会コメント欄				

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第3章医療提供体制

第1節小児医療・周産期医療

(1)小児科救急医療(初期・二次)

目標指標		小児科救急医療病院群輪番制実施時間帯	目標指標達成度	①	A	B *	C	D
目標指標の説明	入院や手術を必要とする小児の重症患者に対応する第二次救急医療体制の実施状況を示す指標です。目標は、令和元年度までにすべての時間帯での実施を目指すものです。		目標 (R元年度)	全時間帯での実施				
			実績 (R元年度)	維持				
実績の算出方法	輪番制実施時間帯 火曜日～金曜日及び土曜日の夜間(午後6時～翌朝8時)、祝休日及び第1～第4日曜日昼間(午前8時～午後6時) 令和元年度実績 小児科受診者数2,369人(居住地別内訳:所沢市412人、狭山市1,194人、入間市602人、その他161人) 平成30年度実績 小児科受診者数3,133人(居住地別内訳:所沢市619人、狭山市1,457人、入間市869人、その他188人)		各年度の達成率(状況)	H28 維持	H29 維持	H30 維持	R元 維持	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 1項目	(維持) 1項目	
		全2項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績			取組状況
1 「埼玉県小児救急電話相談(#8000)」、市民医療センターの小児急患診療の周知、適正受診についての普及啓発を引き続き行い、救急車の適正利用、時間外の急病による保護者の不安軽減に努めます。	(1) 引き続き、全戸配布を行っている情報冊子「健康ガイドとこざわ」の救急医療のページ、市ホームページや広報紙を通じて、救急医療に関して市民への周知を図った。また、全国共通ダイヤル(7119)について、チラシ・カードを公共施設に配付し、周知啓発した。	継続	チャット形式で気軽に相談できる「埼玉県AI救急相談」について「健康ガイドとこざわ」や市ホームページに掲載し、市民に周知を図った。		
2 狭山市・入間市及び関係機関と連携して、平日夜間・祝休日の重症救急患者に対応する小児科救急医療病院群輪番制を引き続き実施し、診療時間外の急病対応や保護者の不安軽減を図ります。	(1) 引き続き、救急医療の安定提供を維持するため、平日及び土曜日の夜間、祝休日の昼間について、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)内の医療機関の協力により実施した。また、埼玉県が主催する「小児救急医療病院群輪番制病院運営事業に関する連絡会議」に参加し、小児二次救急医療体制の現状把握、課題、対応策などについて協議を行った。	継続	参加病院(毎週金曜、第2、4日曜)であった埼玉石心会病院について、令和元年12月に狭山保健所あてに、第4日曜の当番を撤回する旨の申し出があり、令和2年1月から第4日曜日担当病院が不在となった。		
特記事項 1	2 狭山保健所で開催される小児救急輪番体制に関する調整会議において、埼玉石心会病院の第4日曜日参加継続について要望した。				
委員会コメント欄	2 小児科救急医療病院群輪番制事業について、事業実施の主体である県及び狭山市・入間市と連携し、担当病院が不在となっている曜日の病院の確保に努められたい。				

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第3章医療提供体制
第1節小児医療・周産期医療

(2)周産期医療充実のための関係機関との連携

目標指標		産婦人科・周産期医療問題協議会会議への参加	目標指標達成度	㊦	A	B ★	C	D
目標指標の説明	市内の産婦人科医、小児科医、所沢市医師会等の関係機関が連携し、周産期問題に関する情報共有及び対応を行う場である、所沢市産婦人科・周産期医療問題協議会会議への参加状況を示す指標です。		目標 (R元年度)	継続				
			実績 (R元年度)	継続				
実績の算出方法	所沢市産婦人科・周産期医療問題協議会会議への参加 令和元年度会議開催数...4回 主な議題 産婦人科、小児科の状況、市内医療機関の分娩見込みについて等 平成30年度開催数4回		各年度の 達成率(状況)	H28 継続	H29 継続	H30 継続	R元 継続	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 0項目	(維持) 2項目	
		全2項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績			取組状況
1 狭山保健所や埼玉県西部保健医療圏域の各市及び所沢市医師会をはじめとした関係機関と連携を図りながら、安心して子どもを産み育てやすい環境づくりを進めるため、NICUの再開を含めた周産期医療体制の整備を、状況に応じて国や県、医療機関に働きかけます。	(1) 平成30年7月から西埼玉中央病院のNICUが再開(3床)しているが、引き続き、拡充に向けて国や県の動向を注視した。	NICUの拡充に向け、西埼玉中央病院の現状を情報収集し、新生児搬送の受入件数、NICUの稼働状況を把握するとともに、引き続き、国・県の動向を注視した。			
2 引き続き、所沢市医師会産婦人科・周産期医療問題協議会会議に出席し、市内医療機関における分娩状況等の把握に努め、課題を共有していきます。	(1) 引き続き、産婦人科・周産期医療問題協議会に平成30年度は全4回出席し、市内医療機関及び行政機関における現状の把握と課題の共有に努めた。また、市ホームページに所沢市での周産期医療への対応や妊娠に関する相談窓口について情報提供を行った。	継続 令和元年度は協議会に4回出席した。			

特記事項 1	
委員会コメント欄	

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第3章医療提供体制

第2節救急医療

(1)初期救急医療体制

目標指標		在宅当番医制の実施状況	目標指標達成度	㊦	A	B *	C	D
目標指標の説明	入院を必要としない軽症の救急患者に対応する初期救急医療体制の実施状況を示す指標です。所沢市医師会の協力により、一般の医療機関が診療を行っていない祝休日及び年末年始の初期救急医療体制の安定提供のため今後も維持していくものです。			目標 (R元年度)	維持			
実績の算出方法	初期救急医療体制の実施日 祝休日及び年末年始(12月29日～翌1月3日)午前9時～午後5時 休日1日当たり3または4並びに5医療機関で実施 令和元年度実績...実施日76日 受診者数9,872人 3医療機関...休日 4医療機関...12月29日、翌年1月3日 5医療機関...12月30日～翌年1月2日 平成30年度実績...受診日73日 受診者数10,079人			実績 (R元年度)	維持			
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				維持	充実	維持	維持	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果 全5項目	(改善・充実)	1項目	(維持)	4項目
			(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 引き続き、所沢市医師会及び歯科医師会と協力しながら在宅当番医制及び休日緊急歯科診療を実施していきます。	(1) 引き続き、医師会の協力のもと、在宅当番医制を実施し、休日及び祝日の初期救急患者(外来の軽症患者)の医療体制の確保に努めた。	継続				
	(2) 引き続き、指定管理者である歯科医師会が運営している歯科診療所あおぞらで休日緊急歯科診療を実施した。	継続				
2 初期救急及び二次救急の医療機関の役割分担を踏まえ、救急医療体制の維持に努めます。	(1) 所沢市医師会の協力による在宅当番医制の実施し、初期救急体制の維持に努めた。	継続				
	(2) 狭山保健所が開催する「西部地域保健医療・地域医療構想協議会」や「所沢地区救急医療対策協議会」に参加し、課題等について情報共有を図った。	継続				
3 「埼玉県大人の救急電話相談(#7000)」、在宅当番医、休日緊急歯科診療についての情報提供、また、限りある医療資源を有効活用するため、救急車の適正利用の周知啓発を進めます。	(1) 引き続き、全戸配布を行っている情報冊子「健康ガイドとこざわ」の救急医療のページ、市ホームページや広報紙を通じて、救急医療に関して市民への周知を図った。また、全国共通ダイヤル(7119)について、チラシ・カードを公共施設に配付し、周知啓発した。	継続	チャット形式で気軽に相談できる「埼玉県AI救急相談」について「健康ガイドとこざわ」や市ホームページに掲載し、市民に周知を図った。			
特記事項 1						
委員会コメント欄						

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第3章医療提供体制

第2節救急医療

(2)第二次救急医療体制

目標指標		病院群輪番制実施時間帯	目標指標達成度	㊦	A	B ★	C	D
目標指標の説明	入院や手術を必要とする重症救急患者に対応する第二次救急医療体制の実施状況を示す指標です。輪番制を実施している医療機関に協力いただき、所沢地区(所沢市・入間市・狭山市)において、医療機関が休診している月曜日から土曜日の夜間及び祝休日・年末年始の救急医療の安定提供のため、今後も維持していくものです。		目標 (R元年度)	維持				
			実績 (R元年度)	維持				
実績の算出方法	輪番制実施時間帯 夜間(午後6時～翌朝8時)・祝休日年末年始(12月29日から1月3日)(午前8時から午後6時) 令和元年度実績 実施日442日(休日76日・夜間366日)受診者数13,128人、参加医療機関...14 平成30年度実績 実施日438日、受診者数13,313人		各年度の達成率(状況)	H28 維持	H29 維持	H30 維持	R元 維持	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 0項目	(維持) 4項目	
		全4項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績			取組状況
1 狭山市・入間市及び関係機関と連携して、平日夜間・祝休日の重症救急患者に対応する病院群輪番制を引き続き実施していきます。	(1) 引き続き、救急医療の安定提供を維持するため、平日及び土曜日の夜間、祝休日について、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)内の医療機関の協力により実施した。	継続			
2 初期救急及び二次救急の医療機関の役割分担を踏まえ、救急医療体制の維持に努めます。	(1) 所沢地区での病院群輪番制を実施し、二次救急体制の維持に努めた。	継続			
	(2) 狭山保健所が開催する「西部地域保健医療・地域医療構想協議会」や「所沢地区救急医療対策協議会」に参加し、課題等について情報共有を図った。	継続			
3 消防等関係機関と連携し、適切に急病者に対応するための救命活動・救命処置に必要なAEDの使用方法や設置場所の周知、救急蘇生法の普及啓発に努めます。	(1) 市ホームページへ埼玉県内及び市内のAED(自動体外除細動器)設置状況や使い方、埼玉西部消防局で実施する救命講習会、応急手当講習の情報を掲載し、市民への普及啓発を行った。	継続			
特記事項 1	所沢地区病院群輪番制事業の参加病院であった狭山厚生病院について、令和元年10月に狭山保健所あてに、年内もしくは年度内で救急医療機関及び輪番病院への協力申出を撤回する旨の届出が提出された。このことについて、2次救急体制維持のため、所沢地区救急医療対策協議会に対し、当該病院の所沢地区病院群輪番制の参加継続についての要望を提出した。結果、令和2年3月31日まで当該事業への参加を継続した。				
委員会コメント欄	2 所沢地区病院群輪番制事業について、令和2年4月から不参加となった医療機関があることから、所沢市医師会及び狭山市・入間市と連携し、所沢地区の二次救急医療について、十分な対応が図られるよう努められたい。				

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第3章医療提供体制

第3節地域医療

(1)地域医療の充実

目標指標		所沢看護専門学校卒業生の市内就職率	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明		所沢市医師会立所沢看護専門学校卒業生の市内医療機関への就職を通じて地域医療の充実に関する取り組み状況を示す指標です。	★	目標 (R元年度)	5%以上増加			
実績の算出方法		平成26年度実績31.7%を基準とし、5パーセントポイントを加算した令和元年目標の36.7%に向けて毎年どの程度進捗したかで達成率を出しています。 67.7% (R元実績) - 31.7% (H26実績) = 36.0% (進捗度) 36.0 ÷ 5 × 100 = 72.0% 令和元年度達成率72.0%		実績 (R元年度)	67.7%			
				各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元
					32.0%	86.0%	73.0%	72.0%

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果 全12項目	(改善・充実)	11項目	(維持)	11項目	
			(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
	平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 医療従事者の確保に向け、所沢市医師会等と連携したPRを検討します。	(1) 「所沢市健康まつり」において、会場内にブースを提供し、所沢市医師会による看護学校のPRを行った。	継続					
2 引き続き、保健・医療・介護・福祉の連携を深め多職種間での情報共有・課題共有と情報発信を進めます。	(1) 医療・福祉連携推進委員会にオブザーバーとして参加し、医療・介護・福祉の連携に関する情報収集を図った。		「医療・介護連携に関する意見交換会」及び「地域医療構想に関するブロック別意見交換会」に出席し、保健・医療・介護・福祉の連携に関する課題の共有や情報交換に努めた。				
	(2) 市内を6つのブロックに分け、地域包括支援センターによる「医療介護連携会議」を開催した。	継続					
	(3) 在宅医療・介護連携推進事業を所沢市医師会に委託し、医療介護連携推進に努めた。	継続					
	(4) 「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」実務者研修会へ参加 地域包括ケアシステムにおける多職種連携MCS実務者研修会へ参加	令和元年度アドバンス・ケア・プランニング(ACP)研修会に参加し、知識を向上させるとともに多職種間の情報共有に努めた。					
3 関係機関と連携して、小児や障害児等が必要な医療的ケアや利用できるサービスの情報収集と提供に努めます。	(1) 冊子「こども福祉ガイド」を窓口等で配布、市ホームページに公開し、随時最新の情報に更新し、障害児等が利用できるサービス等の情報提供を行った。	継続					
	(2) 入院児童については、医療機関からの要請等に応じ、保健センターと連携し、退院時カンファレンス等に出席し、相談や情報提供に努めた。 「医療的ケア児支援の情報交換会」を開催し、保健、医療、福祉その他の関係機関とともに、医療的ケア児に関する情報共有や意見交換を行った。	継続					

3 関係機関と連携して、小児や障害児等が必要な医療的ケアや利用できるサービスの情報収集と提供に努めます。	(3) 在宅児童については、訪問やサービス担当者会議を通じて、相談、情報提供、関係機関との連携に努めた。 「医療的ケア児支援の情報交換会」を開催し、保健、医療、福祉その他の関係機関とともに、医療的ケア児に関する情報共有や意見交換を行った。	継続	
4 市民が医療機関の情報を必要とした時に、所沢市を含む県内の医療機関の情報を検索できる「埼玉県医療機能情報提供システム」を市民に分かりやすい形で市ホームページ等に掲載します。	(1) 引き続き、全戸配布を行っている情報冊子「健康ガイドところざわ」の救急医療のページ、市ホームページや広報紙を通じて、救急医療に関して市民への周知を図った。また、全国共通ダイヤル(7119)について、チラシ・カードを公共施設に配付し、周知啓発した。	継続 チャット形式で相談できる県による「埼玉県A!救急相談」についても「健康ガイドところざわ」で周知啓発に努めた。	
5 埼玉県が策定する地域医療構想(平成28年度中策定予定)の内容把握に努め、狭山保健所を始めとした関係機関と連携して対応していきます。	(1) 狭山保健所が開催する「西部地域保健医療・地域医療構想協議会」に参加し、埼玉県地域保健医療計画に基づく西部保健医療圏の重点取組の進捗状況の確認、平成28年10月に策定した埼玉県地域医療構想についての情報共有を図った。	狭山保健所が開催する「西部地域保健医療・地域医療構想協議会」(令和元年度は書面による開催)に参加し、埼玉県地域保健医療計画に基づく西部保健医療圏の重点取組の進捗状況の確認及び課題等の情報共有を図った。	
6 医療に関する市民向けの講演会の開催を検討し、市民への啓発を進めます。	(1) 保健センターで開催している、健康まつり開催時に市民向けの講演会として平成30年度は「口からはじまる健幸長寿」に関する講演会を実施した。 講師:所沢市歯科医師会 理事 小沢 正道氏 参加人数:47人	継続 講演会:「かかりつけ医の役割」を開催 講師:所沢市医師会 会長 京谷 圭子氏 参加人数:63人	
7 国保データベース(KDB)システムを分析し、本市における疾病傾向の分析を進め、健康課題の把握に努めるとともに効率的・効果的な保健指導を図ります。	(1) 継続 KDBシステムを活用して、疾病の傾向や特性を把握し、「第2期所沢市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)平成30年度~平成35年度」に基づき、保健事業を実施した。	継続	
特記事項 1			
委員会コメント欄			

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第3章医療提供体制

第3節地域医療

(2)在宅医療の推進

目標指標		在宅医療に関する講演会の開催	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
目標指標の説明	在宅医療の推進に関する取り組み状況を示す指標です。 在宅医療に関する講演会を開催し市民への在宅医療に関する知識の普及啓発を図ります。				*			
実績の算出方法	在宅医療に関する講演会の開催 R元実績・保健センターで開催している、健康まつり開催時に、市民向け講演会「かかりつけ医の役割」を開催した。 ・市民向け公開講座「知って安心在宅医療と介護」を開催した。		目標 (R元年度)	開催				
			実績 (R元年度)	開催				
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				開催	開催	開催	開催	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果 全6項目	(改善・充実)	0項目	(維持)	6項目
			(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 「所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、関係機関と連携し、保健・医療・介護・福祉の連携推進を図ります。	(1) 引き続き、高齢者福祉計画推進会議に参加し、保健・医療・介護・福祉連携に関する情報共有を図った。	継続				
2 関係機関と連携して、在宅で過ごすために必要な医療的ケアや利用できるサービスの情報収集、提供に努めます。	(1) 市内医療機関に対するアンケート調査を実施した。また、在宅医療機関一覧を更新した。	継続				
	(2) 在宅児童については、訪問やサービス担当者会議を通じて、相談、情報提供、関係機関との連携に努めた。 「医療的ケア児支援の情報交換会」を開催し、保健、医療、福祉その他の関係機関とともに、医療的ケア児に関する情報共有や意見交換を行った。	継続				
3 必要に応じて地域の医療・介護関係者の連携による医療・介護に関する研修会等の開催に努めます。	(1) 引き続き、医療・介護・福祉の連携の推進を図るため、医療介護連携会議を開催した。	継続				
4 在宅医療を必要とする障害児者や高齢者が、安心して暮らせるように、関係部署や所沢市医師会、所沢市歯科医師会、所沢市薬剤師会等の関係機関との連携体制の充実に努めます。	(1) 在宅児童については、訪問やサービス担当者会議を通じて、相談、情報提供、関係機関との連携に努めた。 「医療的ケア児支援の情報交換会」を開催し、保健、医療、福祉その他の関係機関とともに、医療的ケア児に関する情報共有や意見交換を行った。	継続				
5 市ホームページ等を通じて在宅での療養に必要な医療サービスや、看取り等に関する理解、知識の普及啓発に努めます。	(1) 市民向け公開講座「いい人生だったと思えるために～平穏死のすすめ」を開催した。	継続 市民向け公開講座「知って安心在宅医療と介護」を開催した。				

特記事項 1	
委員会コメント欄	

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第4章市の公立医療機関の役割

第1節所沢市市民医療センター

(1)小児急患診療

目標指標		小児初期救急医療体制の維持	目標指標達成度	①	A	B	C	D
目標指標の説明		所沢市の小児初期救急医療の体制整備を示す指標です。 引き続き、所沢市域全体で365日昼間、夜間、深夜の全ての時間帯での小児初期救急医療を提供できるよう体制を維持するものです。			*			
実績の算出方法		小児初期救急医療体制の維持		目標 (R元年度)	維持			
				実績 (R元年度)	維持			
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				維持	維持	維持	維持	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	0項目	(維持)	3項目
		全3項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
		平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績			取組状況
1 小児初期救急医療体制については、他の医療機関の協力を得ながら、市域全体において全ての時間帯で診療を受けられる体制が整っており、今後においても市民医療センターが中心的役割を果たして、この体制の維持に努めていくことで、安心して子育てできる医療環境の整備を図ります。	(1) 市民医療センター常勤医師のほか、非常勤医師及び所沢市医師会からの派遣医師約50名の担当日の調整を図り、市民医療センターが中心的役割を果たし、所沢市域全体で、365日、昼間、夜間、深夜のすべての時間帯での小児初期救急医療体制を安定的に維持した。 平成30年度実績 市民医療センター小児科受診者数 平日昼間：17,153人 夜間：3,504人 深夜：1,420人 日曜日及び休日：3,785人 合計：25,862人	継続 令和元年度実績 市民医療センター小児科受診者数 平日昼間：16,201人 夜間：3,440人 深夜：1,509人 日曜日及び休日：3,956人 合計：25,106人				
2 所沢市医師会、防衛医科大学校病院、西埼玉中央病院、所沢市薬剤師会など関係機関との調整、連携を進め、市民医療センターにおいて切れ目のない小児初期救急医療体制を維持します。	(1) 所沢市医師会、防衛医科大学校病院、西埼玉中央病院、瀬戸病院などをメンバーとした小児初期救急医療推進ネットワーク協議会を開催し、市内における救急医療の状況確認を行うとともに、小児初期救急医療体制の推進について総合的に協議した。	継続				
3 入院体制の整備は、他の医療機関の状況を注視し、その必要性を考慮し、対応していきます。	(1) 第三次救急医療機関の防衛医科大学校病院、第二次救急医療機関の西埼玉中央病院、瀬戸病院における入院体制の状況を注視し、入院体制の整備の必要性を見極めるとともに、その中で市民医療センターの担う役割として初期救急医療体制の維持に努めた。	継続				
特記事項 1						
委員会コメント欄						

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第4章市の公立医療機関の役割

第1節所沢市市民医療センター

(2)地域医療・在宅医療への対応

目標指標		他の医療機関等からの紹介入院受入れ体制の充実	目標指標達成度	㊤	A	B	C	D	
目標指標の説明		市民医療センターと近隣の医療機関等との連携体制を示す指標です。地域連携室に看護師、医療ソーシャルワーカー、事務補助員を配置することにより、平日昼間は近隣の医療機関からの入院依頼に対して円滑な入院受入れができる体制になっています。	目標指標達成度	目標 (R元年度)	充実				
実績の算出方法		受入れ体制の実施 令和元実績：新たに臨時的任用職員として理学療法士1名を任用し、入院患者に対するリハビリテーションの更なる充実を図った。	目標指標達成度	実績 (R元年度)	充実				
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元		
				維持	維持	充実	充実		

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 1項目	(維持) 7項目
		全8項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目
		令和元年度主な取組実績	取組状況	
1 住み慣れた地域でいつまでも暮らしていただけるように、内科疾患の急性期治療を担い、地域完結型の医療提供体制に寄与し、特に在宅医療の後方支援に対応していくために、引き続き関係機関との調整、連携を図り、公的医療機関としての役割を果たします。	(1) 「地域連携室」を設置したことで、入院に関する相談や医療機関との調整、在宅医療に関する相談など関係機関との調整、連携などの役割を担った。 平成30年度実績 相談業務：6,673件(前年度比 -842件) 予約業務：551件(前年度比 +53件) 調整業務：2,027件(前年度比 -990件)	継続 令和元年度実績 相談業務：10,787件(前年度比 +4,114件) 予約業務：613件(前年度比 +62件) 調整業務：3,623件(前年度比 +1,596件)		
2 増加するがん患者に対しても地域の医療機関と連携しながら積極的に受入れ、症状の緩和を目的とした治療を行います。	(1) がん疼痛ケアの研修会等に看護師が参加し、院内の勉強会で情報共有を図り、病院全体でがん患者の疼痛緩和ケアに努めた。 平成30年度実績 対応した看取り患者数：7人	継続 令和元年度実績 対応した看取り患者数：11人		
3 退院のためのリハビリテーション機能や内科に関する専門診療科の充実のため、人材確保と環境整備に向けて検討を進めます。	(1) 平成30年度から、新たに常勤の理学療法士2名を採用し、入院患者に対するリハビリテーションを開始した。 (2) 平成30年11月に、急性期一般病床の一部を地域包括ケア病床に転換し、リハビリ・在宅復帰支援のための入院機能の整備を行った。	令和元年度から、新たに臨時的任用職員として理学療法士1名を任用し、入院患者に対するリハビリテーションの更なる充実を図った。 継続		
4 近隣の医療機関等との連携を強化し、紹介入院患者の受入れを促進します。	(1) 近隣の医療機関等が主催するフォーラムや懇談会、研修会などに参加し、市民医療センターの診療や地域連携室の活動をPRすることで、連携(紹介)先として市民医療センターを意識してもらえるよう努めた。	継続		

4 近隣の医療機関等との連携を強化し、紹介入院患者の受入れを促進します。	(2) 市内の開業医や介護老人福祉施設等を訪問して、市民医療センターの診療や取り組みについてPRし、近隣の医療機関等からの紹介入院患者の確保に努めた。 平成30年度実績 紹介入院患者数：290人	継続 令和元年度実績 紹介入院患者数：347人	
5 在宅療養支援ベッド確保事業に引き続き参画し、在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れていきます。	(1) 「在宅療養支援ベッド確保事業」への参画を継続し、在宅療養中の患者の緊急入院の受入れを実施するとともに、受入体制を維持した。 平成30年度実績 毎週水曜日を担当 受入患者数：1名	継続 令和元年度実績 毎週水曜日を担当 受入患者数：0名	
6 地域で福祉や介護に携わるスタッフとの連携を深め、市民医療センターで受診している患者が適切な医療や介護を受けられるよう支援します。	(1) 地域で福祉や介護に携わるスタッフを対象とした、市民医療センター主催の地域交流会を開催し、糖尿病に関する医師の講演や、退院支援に関する事例紹介など市民医療センターの活動内容をPRし、介護関係者との意見交換を通じ、連携強化を図った。 平成30年度実績 11月20日開催 参加者数：76名	継続 令和元年度実績 11月19日開催 参加者数：88名	
特記事項 1	3 令和元年度から、新たに臨時的任用職員として理学療法士1名を任用し、入院患者に対するリハビリテーションの更なる充実を図った。		
委員会コメント欄			

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第4章市の公立医療機関の役割
第1節所沢市市民医療センター

(3)健診事業

目標指標		人間ドックで精密検査を指示された方の精密検査を受けた割合	目標指標達成度	①	A	B	C	D
目標指標の説明	疾病の早期発見、治療に関する取り組みを示す指標です。 人間ドックで精密検査を指示された方のうち、市民医療センターで実際に精密検査を受けた方の割合です。 平成26年度実績の30.8%から令和元年度までに4.2ポイント増の35%を目指すものです。			目標 (R元年度)	35%			
				実績 (R元年度)	24.9%			
実績の算出方法	精密検査を指示された方のうち、市民医療センターで実際に精密検査を受けた方の割合 平成26年度実績の30.8%から令和元年度目標の35.0%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 24.9% (R元実績) - 30.8% (H26実績) = -5.9% (進捗度) - 5.9 ÷ 4.2 × 100 = -140.5% H30実績... -31.0%			各年度の 達成率(状況)	H28	H29	H30	R元
					-40.5%	-124%	-31.0%	-140.5%

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果 全8項目	(改善・充実)	0項目	(維持)	8項目
			(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 疾病の早期発見と早期治療のため、健診の利用を推奨するとともに、精密検査や治療が必要な受診者に対し、成績表や面談での受診勧奨に加え、手紙で外来受診の確認を行い、確実な医療機関への受診を促進します。	(1) 精密検査や治療が必要な受診者について、成績表や面談での受診勧奨に加え、早急な再検査や治療が必要な受診者については電話による受診勧奨を実施した。また、人間ドック受診後、数か月経過しても市民医療センターでの精密検査等の受診が確認できない場合は、手紙で受診状況の確認を実施し、確実な医療機関への受診を促進した。	継続				
2 人間ドックや各種健診の質の向上と各種サービスの充実を図り、継続的に受診していただくことで、疾病の予防や早期発見につなげます。	(1) 前年度の人間ドック受診者に対してハガキによる受診勧奨を実施し、1年ごとの健診の受診を促した。	継続				
	(2) 人間ドックのオプション検査における上部消化管内視鏡検査の実施日に新たに木曜日を追加し、受診希望者の受け入れ体制を拡大した。 上部消化管内視鏡検査受診者数：1949人	継続 令和元年度実績：2,133人				
3 周知方法の工夫や月ごとの受診者数の平準化により混雑を緩和し、快適に受診できる環境を整備するとともに、新規受診者の受け入れが円滑にできるよう努めます。	(1) 前年度の月ごとの人間ドック受診者数の推移をグラフ化して市ホームページ、受診勧奨ハガキ等に掲載し、混雑時期を避けた受診を促し、受診者数の平準化を促進した。	継続				
	(2) 市ホームページに「人間ドック予約受付フォーム」を新たに掲載し、24時間365日、インターネットからの予約を可能にした。	継続				
	(3) 受診者を分散化し混雑緩和を図るため、受付時間の細分化に向けた検討を行い、平成29年4月より実施を開始した。 待ち時間を短く円滑に検査を進めることができるよう、人間ドックの受付時間を3区分にして予約するようにした。	継続				

4 現行のオプション検査活用の周知を図るとともに、新たなオプション検査の採用を検討します。	(1) 人間ドックの事前に送付する書類の中に、受診当日の追加が可能なオプション検査のお知らせを同封し、オプション検査活用の周知を図った。 CT内臓脂肪測定のご案内チラシを、問診票の送付時に同封し周知したことで、検査件数が前年度253件から638件に増加した。	継続 令和元年度実績：571件	
5 高齢者や希望者の上部消化管エックス線検査を内視鏡による検査に変更していくよう検討していきます。	(1) 人間ドックのオプション検査における上部消化管内視鏡検査の実施日に新たに木曜日を追加し、受診希望者の受け入れ体制を拡大した。 上部消化管内視鏡検査受診者数：1949人	継続 令和元年度実績：2,133人	
特記事項 1	目 新型コロナウイルス感染症防止のため、令和2年2月より、精密検査勧奨を見合わせた。		
委員会コメント欄			

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第4章市の公立医療機関の役割
第2節所沢市歯科診療所あおぞら
(1)所沢市歯科診療所あおぞら

目標指標		歯科診療所あおぞらの心身障害児者歯科診療の受診者数	目標指標達成度	㊤	A	B	C	D
目標指標の説明	障害児者の歯科診療を充実させるための指標です。目標は、第3次所沢市障害者支援計画における平成29年度の目標を踏まえ、平成26年度実績の795人から令和元年度までに55人増の受診者数850人以上を目指すものです。			目標 (R元年度)	850人以上			
				実績 (R元年度)	741人			
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の795人から令和元年度目標の850人に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 741人(R元実績) - 795人(H26実績) = -54人(R元進捗度) H26～R元までの増減数 850人-795人=55人 R元達成率...-54÷55×100=-98.2% H30実績...815人			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元
					45.5%	47.3%	36.4%	-98.2%

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	
		全5項目	
		(改善・充実)	(維持)
		1項目	4項目
		0項目	0項目
	平成30年度主な取組実績	令和元年度主な取組実績	
1 診療状況を詳細に把握するとともに、今後の診療等に関するニーズを予測して円滑な事業運営に努めます。	(1) 在宅介護高齢者歯科診療に関するアンケートを1回(H30.10～12)障害児者診療に関するアンケートを1回(H31.2～3)に行い、利用者のニーズの把握に努めた。	継続	継続
2 障害児者の歯科診療日を拡大した後においても、受診しにくい状態が続く場合には、その対応策について検討を行います。	(1) 障害児者歯科診療について、受診者の利便性の向上を図るため、これまでの木曜日に加え、平成28年4月から日曜日の診療も可能とした。	継続	
3 所沢市歯科医師会と連携し、障害児者の歯科診療を実施している医療機関や、埼玉県が実施する障害者歯科相談医制度に登録している歯科診療所の周知に努めます。	(1) 地域における障害児者の歯科診療を実施している医療機関に関する問合せについて、対応可能な医療機関を案内した。	継続	
4 市民が安心かつ利用しやすい歯科診療体制とするため、所沢市歯科医師会と連携して地域連携体制の強化に努めます。	(1) 所沢市医師会、歯科医師会、障害者団体の代表者で構成する所沢市歯科診療所あおぞら会議において、あおぞらの診療体制等についての意見交換を行った。	継続	R元年度は、歯科診療所あおぞら会議において、これまでの参加者に加え、障害者施設職員等、2名の新たな参加者を招き、より多くの意見の聴取に努めた。誤嚥等の偶発事故に備え、指定管理者と市内医療機関とで、事故発生等の受け入れについての協定を締結した。
5 地域の歯科診療所に対して在宅歯科診療のニーズが高まると予想されるため、歯科診療所あおぞらと地域の歯科診療所との役割のすみ分けを行い、市民が安心して歯科診療を受けることのできる体制づくりを進めます。	(1) 所沢市歯科医師会が保健センター内に所沢市地区在宅歯科診療相談窓口を設置し、在宅歯科医療に関する相談を受けたり、訪問診療を行う歯科医院等の紹介をしている。歯科診療所あおぞらでの対応が必要な患者については、引き続き、適切な対応を行った。	継続	
特記事項 1	新型コロナウイルス感染症の拡大や院内感染予防のため、装備の強化や消毒をより徹底して診察を実施した。また、待合等での患者同士の接触を最小限にするため、診察枠を減少したことにより前年度に比べて実績は低い結果となった。		
委員会コメント欄			

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例：目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第5章健康危機管理

第1節感染症対策

(1)国・県等の取り組みの情報収集・情報提供

目標指標		感染症の流行に関する情報の発信	目標指標達成度	㊤	A	B *	C	D
目標指標の説明	感染症に関する情報について、市民が自ら予防・感染拡大防止の対策をとるための情報が周知されているかを示す指標です。収集した情報を迅速に発信し、市民が対策をとれるよう今後も継続実施していきます。		目標 (R元年度)	継続				
			実績 (R元年度)	継続				
実績の算出方法	感染症の流行に関する情報の発信		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	6項目	(維持)	0項目
		全6項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 国や県等の発信する情報を基に、感染症等発生の際だけでなく、平常時から正確かつ最新の情報の収集を行っていきます。また、感染拡大時に迅速な状況把握が可能となるよう、関係機関との連携強化に努めます。	(1) 引き続き、国や県から発信される感染症情報の収集に努めたほか、国や県が開催する研修会や担当者会議を通じて、関係機関との連携強化を図った。	感染者が発生した場合や、感染拡大に備え、県や保健所との連携強化に努めた。				
2 感染症の流行時には、国や県の発信する情報等を収集し、流行の推移や地域、また、感染症の特性や適切な予防対策等、市民へ正確かつ迅速な情報提供を進めます。	(1) 引き続き、国や県から発信される感染症情報を収集し、市ホームページや広報紙により市民への情報提供を行った。	新型コロナウイルス感染症に関し、令和2年3月23日に市民に感染者が発生して以降、埼玉県が公表する新規感染者の年代や性別等の情報について、すみやかに市ホームページやほっとメールで公表した。また、国や県からの感染予防対策の情報等を収集し、対策本部会議を11回開催し対策について協議した外、庁内の情報共有を行い、市民へ市ホームページやほっとメール等により情報提供を行った。				
3 感染症法の改正等が行われた場合、速やかに改正に応じた対応をとれるように、情報の収集及び体制の整備に努めます。	(1) 引き続き、国や県より発信される感染症法の改正等に関する情報の収集に努め、制度改正等の動きに備えた。	新型コロナウイルス感染症の発生により、感染症法が改正されたことに対応するとともに、市の主な役割である、市民への情報提供及び、感染症予防に関する啓発を迅速に行った。				
4 感染が拡大した際には、感染症の特性や感染時の症状、感染力の強弱や有効な予防方法について、正確で速やかな情報の収集及び市民への周知を進めます。	(1) 引き続き、感染拡大時に、市民へ感染症の正確な情報を提供することができるよう、日頃から国や県から発信される関連情報の収集に努めた。	新型コロナウイルス感染症に関し、感染拡大に備え国や県から発信される関連情報の収集に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症患者が発生した際の対応やイベント等の考え方について、対策本部会議で協議し取りまとめて公表した。また、「集団感染を防ぐために密を避けましょう」や「国の感染症対策の基本方針」等の情報を市ホームページで速やかに市民に周知した。				
5 手洗いや咳エチケット等、感染症予防対策について、広報紙、市ホームページ、パンフレット等により周知啓発を進めます。	(1) 各体育施設に注意喚起を促し、職員利用者とともに感染症予防に関する情報を把握してもらうように努めた。	対策本部会議において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは、中止・延期・規模縮小とした。3月上旬より屋内施設を閉館するとともに、感染者が発生した場合の対応を協議した。決定事項については、広報紙、市ホームページ、ほっとメール等で市民に周知した。				
	(2)	新型コロナウイルス感染症の市内感染者の発生に伴い、健康に不安を感じる市民向けに、新たに、免疫力を高める生活をこころがける啓発資料を作成し、市ホームページで公開するための準備を進めた。				

<p>特記事項 1</p>	<p>目 ・ 令和2年2月14日、関係所属長による新型コロナウイルス感染症情報共有会議を立ち上げ、以後、会議を2回開催した。 2 令和2年2月18日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を立ち上げ、以後、11回会議を開催し、対応について協議した。国や県の情報を収集し、市民に対し、市ホームページやほっとメール、広 報誌等により迅速に情報提供を行った。 5</p>
<p>委員会コメント欄</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策については、国や県からの情報の収集・提供に努めるとともに、組織全体としての確な対応に努められたい。</p>

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第5章健康危機管理

第1節感染症対策

(2)新型インフルエンザ等対応

目標指標		新型インフルエンザ等対策訓練への参加・実施	目標指標達成度	①	A	B *	C	D
目標指標の説明	新型インフルエンザ等対策が国・県の対策と一貫性を持ったものとして機能しているかどうかを示す指標です。新型インフルエンザ等対策行動計画等に始まる対策の実効性を高めるため、今後も継続実施していきます。		目標 (R元年度)	参加・実施				
			実績 (R元年度)	参加・実施				
実績の算出方法	訓練への参加・実施		各年度の達成率(状況)	H28 参加・実施	H29 参加・実施	H30 参加・実施	R元 参加・実施	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	7項目	(維持)	0項目	
		全7項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績					取組状況
1 新型インフルエンザ等の予防対策について日頃から周知するとともに、流行時には不要不急の外出を控え、感染拡大時には適切な医療機関への受診等、未発生時から発生時に關する情報の周知を進めます。	(1) 引き続き、市民への周知を図るため、市民向け新型インフルエンザ等対策リーフレットをまちづくりセンターや保健センターなどに配架。	感染症予防のためのチラシを公共施設に掲示するとともに、市ホームページやほっとメールで周知を図った。更に、市内で最初の感染者が出た令和2年3月23日に新型コロナウイルス感染症コールセンターを立ち上げるとともに、市長メッセージを発信した。					
	(2) 埼玉県が埼玉県医師会に委託している新型インフルエンザ等医療体制整備促進事業の一環として行われた「新型インフルエンザ等講演会」に出席し新型インフルエンザ等対策の現状と課題について情報収集に努めた。	埼玉県が埼玉県医師会に委託している新型インフルエンザ等医療体制整備促進事業の一環として行われた「新型インフルエンザ等講演会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客形式で行われたことから、資料による新型インフルエンザ等対策の現状と課題の情報収集に努めた。					
2 「所沢市新型インフルエンザ等対策行動計画」、「所沢市業務継続計画(BCP)【新型インフルエンザ等編】」に基づき、新型インフルエンザ等の発生・流行時に適切な対応がとれるよう体制を整えるとともに、新型インフルエンザ等の発生を想定した訓練の実施等を通じて流行に備えます。	(1) 埼玉県が実施する「新型インフルエンザ等対策研修会」及び「狭山保健所管内感染症関係機関担当者会議」に出席し埼玉県の新型インフルエンザ対策について情報交換を行った。	新型コロナウイルス感染症が、令和2年3月13日に新型インフルエンザ等感染症に追加されたことにより、新型インフルエンザ等行動計画に基づき対応するとともに、対策本部会議において、緊急事態宣言の発出に備え、緊急事態措置の内容について共有した。					
	(2) 埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に合わせ連絡訓練を実施した。	対策本部会議において、新型コロナウイルス感染症にかかる業務継続の考え方について検討した。					
	(3) 各体育施設に注意喚起を促し、職員利用者とともに情報を把握してもらうように努めた。	対策本部会議において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントは、中止・延期・規模縮小とした。3月上旬より屋内施設を閉館するとともに、感染者が発生した場合の対応を協議した。広報紙、市ホームページ、ほっとメール等で周知した。					
3 平常時から新型インフルエンザ等に関する正しい知識を身につけることができるよう啓発を行うとともに、流行時の「特定接種」や「住民接種」を円滑に実施することができるよう情報提供に努めます。	(1) 引き続き、市民への周知を図るため、市民向け新型インフルエンザ等対策リーフレットをまちづくりセンターや保健センターなどに配架。	感染症予防のためのチラシを公共施設に掲示するとともに、市ホームページやほっとメールで周知を図った。更に、令和2年3月23日に新型コロナウイルス感染症コールセンターを立ち上げるとともに、市内で最初の感染者が出た際には、市長メッセージを発信した。					

<p>3 平常時から新型インフルエンザ等に関する正しい知識を身につけることができるよう啓発を行うとともに、流行時の「特定接種」や「住民接種」を円滑に実施することができるよう情報提供に努めます。</p>	<p>(2) 新型インフルエンザ等対策連絡会議を開催し、「特定接種」等について情報共有を行った。</p>	<p>新型コロナウイルスへのワクチンの開発状況について情報収集を行った。</p>	
<p>特記事項 1</p>			
<p>委員会コメント欄</p>	<p>2 新型コロナウイルス感染症が、新型インフルエンザ等特別措置法の対象となったことに伴う、行動計画や業務継続計画の改定について、国や県の動向に注視し、必要に応じて適切に対応されたい。</p>		

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第5章健康危機管理

第2節災害時医療

(1)地域防災計画に基づく対策

目標指標		関係機関等との連携強化	目標指標達成度	㊦	A	B ★	C	D
目標指標の説明	災害時に適切な医療体制を確保することができるかどうかを示す指標です。災害時の負傷者の受入れや薬剤の確保等を適切に行えるよう、連携を強化していきます。		目標 (R元年度)	強化				
			実績 (R元年度)	維持				
実績の算出方法	関係機関等との連携強化		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				検討・実施	維持	維持	維持	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果 全5項目	(改善・充実)	0項目	(維持)	5項目
			(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 災害時には「業務継続計画(BCP)」に基づき、応急復旧業務を実施するとともに、一定水準以上の行政機能を維持・継続していくよう努めます。	(1) 引き続き、業務継続計画(BCP)、非常時優先業務表(応急復旧業務)について、災害時の優先事項、継続すべき分担業務の確認に努めた。	継続				
	(2) 平成30年度は所沢市総合防災訓練(関係機関連携訓練の救出・救護訓練)において、医師会が負傷者対応役として参加した。	これまで、未整備であった、市民医療センター・保健センターと本庁舎を結ぶ市特有無線網である災害時の連絡手段(移動系防災行政無線)の導入について検討を行った。(令和2年度に調査・設計、令和3年度に整備予定)				
2 災害発生時の医療体制を確保するため、所沢市医師会の定める医療救護班等に始まる初期医療体制に関わる連絡体制や、負傷者の搬送先となる災害拠点病院等の後方医療体制、DMAT(災害派遣医療チーム)の派遣要請等、県や医師会等と連携し医療体制の整備を図ります。	(1) 引き続き、地域防災計画に基づき災害発生時の医療体制の整備に努めた。	大規模災害時における、休日当番医や救護所、避難所等の医療体制、及び救急医療、健診業務などの実施や問題点等について、所沢市医師会と打ち合わせを行い情報共有を図った。				
	(2) 平成29年度の地域防災計画を踏まえて、医療救護班体制や仮設救護所の今後のあり方について、医師会等と協議を行ってきた(今後も継続)。	平成30年度に行った協議結果を基に、また、医師会で実施したアンケート調査結果等も踏まえながら、今後の進め方について、危機管理課と保健医療課で協議を行った。(今後は医師会等も交えて協議。)				
3 所沢市医師会、所沢市薬剤師会との連携強化による、災害時の医療体制及び薬品等の確保に努めます。	(1) 引き続き、災害時の医療体制及び薬品等の確保については、地域防災計画に基づき医師会対策本部から市災害対策本部に補給要請等を行うことを確認した。	継続				
特記事項 1						
委員会コメント欄	新型コロナウイルス感染症が懸念される中、災害時における避難所等において、適切な対応が図られるよう、関係機関と連携強化に努められたい。					

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第5章健康危機管理
第2節災害時医療
(2)災害時の保健活動

目標指標		災害時保健活動に関わる情報収集	目標指標達成度	㊦	A	B *	C	D
目標指標の説明	災害時の保健活動を実際に行う際、迅速に適切な対応ができるかどうかを示す指標です。引き続き、連携強化・情報収集に継続して取り組んでいきます。		目標 (R元年度)	継続				
			実績 (R元年度)	維持				
実績の算出方法	災害時の保健活動に関わる情報収集 災害時保健活動マニュアル作成に向け、健康づくり支援課、危機管理課、狭山保健所などの関係機関で情報交換を行い、マニュアルの骨子を検討した。全保健師対象に災害時保健活動の研修会を開催した。		各年度の達成率(状況)	H28 継続	H29 継続	H30 継続	R元 維持	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実)	2項目	(維持)	1項目
		全3項目	(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 研修会や意見交換会への参加を通じて、避難所保健活動に関する最新の研究等の情報を把握するとともに、各関係団体や域外団体等との連携に努めます。	(1) 埼玉県主催の「大規模災害時対応研修」に参加し、狭山保健所管内保健師連絡調整会議において、「西日本豪雨災害被災地支援報告」を聴取するなど、災害時における保健活動に係る情報収集に努めた。 狭山保健所にて「健康危機管理訓練」「災害時のトイレに関する研修」等に参加し、災害時における保健活動に係る情報収集に努めた。	市全保健師を対象に災害時の保健活動について研修会を開催し、発災初期の対応・体制づくりについて情報を共有した。 県や狭山保健所が主催する研修会に参加し、災害時の保健活動体制づくりや感染症予防対策など、災害時の保健活動に係る情報収集に努めた。				
2 災害時における保健活動について、平常時から避難所等において行うべき衛生、健康面の管理指導について保健師・栄養士・精神保健福祉士等の専門職種の活動領域や役割の整理を行っていくことに努めます。	(1) 平成30年12月に策定した保健活動の役割や目指すべき方向性について定めた「所沢市保健師の保健活動に関する指針」に基づき、災害時の保健活動について、平時から部署横断的に備える必要性を共有した。	「災害時における食中毒予防ブック」を作成し、避難所の備蓄倉庫に配備することによって、避難所における栄養管理・食品衛生管理について周知を図った。 (仮称)所沢市災害時保健活動初動マニュアルの作成に向けて、市の代表保健師会議にて危機管理課・保健医療課・健康づくり支援課・各課代表保健師参加のもと、協議を実施した。また、同マニュアル作成に向け、狭山保健所と情報交換を行った。				
3 災害時医療及び保健活動の連動に関する訓練の実施等を通じて、実際に災害が発生した際、迅速に適切な対応がとれるよう努めます。	(1) 総合防災訓練で地域住民に災害時の健康課題について健康教育を実施した。	防災訓練で東日本大震災被災地である宮城県山元町の元職員(本市元職員)を招き、震災後の活動状況、町職員と派遣職員による復興に向けての動きなどについて講話をいただき、今後災害が発生した場合の具体的な対応について学び、職員の意識向上ができた。				

特記事項 1	
委員会コメント欄	災害時における市民の衛生管理・栄養管理等が十分保たれるよう、「(仮称)所沢市災害時保健活動マニュアル」を早急に作成するとともに、関係機関、関係各課とも連携し、保健活動の整備に努められたい。

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第6章所沢市国民健康保険医療費適正化への取り組み

第1節所沢市国民健康保険医療費適正化への取り組み

(1)所沢市国民健康保険医療費適正化への取り組み

目標指標		国民健康保険特定健康診査の受診率	目標指標達成度	㊤	A	B	C	D	/
目標指標の説明	疾病予防対策の推進に関する取り組みの成果を測る指標です。目標は、「所沢市特定健康診査等実施計画(第2期)」にて平成29年度末までに60%を目指すとして定めています。平成26年度実績の37.7%から令和元年度までに受診率60%以上の数値を目指すものです。		目標 (R元年度)	60.0%以上					
			実績 (R元年度)	40.5%					
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の37.7%から令和元年度目標の60%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 40.5%(R元実績) - 37.7%(H26実績) = 2.8%(R元進捗度) H26～R元までの増減率 60% - 37.7% = 22.3% R元達成率...2.8% ÷ 22.3% × 100 = 12.56% H30実績...8.97%		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元		
				4.48%	8.07%	8.97%	12.56%		

目標指標		国民健康保険ジェネリック医薬品の利用率	目標指標達成度	㊤	A	B	C	D	/
目標指標の説明	ジェネリック医薬品の利用状況を示す指標です。目標は、厚生労働省の「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」にて平成29年度末までに数量シェアを60%以上と定めています。平成26年度実績の57.2%から令和元年度までに利用率70%以上の数値を目指すものです。		目標 (R元年度)	70.0%以上					
			実績 (R元年度)	77.7%					
実績の算出方法	目標に対する達成率は、平成26年度実績の57.2%から令和元年度目標の70%に向けて毎年どの程度進捗したかで表しています。 77.7%(R元実績) - 57.2%(H26実績) = 20.5%(R元進捗度) H26～R元までの増減率 70% - 57.2% = 12.8% R元達成率...20.5% ÷ 12.8% × 100 = 160.2% H30実績...132.8%		各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元		
				67.2%	92.2%	132.8%	160.2%		

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果 全8項目	(改善・充実)	2項目	(維持)	6項目
			(検討中)	0項目	(未実施)	0項目
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績				取組状況
1 所沢市医師会、所沢市歯科医師会、所沢市薬剤師会と連携して、ジェネリック医薬品の利用促進、特定健康診査等の受診率の向上、特定保健指導の実施率向上、普及啓発を通じた疾病予防を推進し、医療費適正化に努めます。	(1) ジェネリック医薬品の利用促進及び特定健康診査の受診率向上のために、埼玉西武ライオンズの選手を起用したポスターや、ほっとメールを活用した利用促進、受診勧奨を行った。	継続				
	(2) 所沢シティマラソンでのイベント参加が会場の都合により不可能であったため、代わりにとこちゃんまつり等でのPR活動を実施した。	継続 健康まつりやとこちゃんまつり等のイベント時に制度のPR活動を実施した。				
	(3) ジェネリック医薬品の利用促進について、被保険者や所沢市医師会・歯科医師会・薬剤師会全員への希望シールの配布、受給者証(限度額適用認定証、高齢者受給者証)用ケースの配布等を行った。	継続				

2 所沢市国民健康保険加入者については、引き続き特定健康診査結果等のデータから、糖尿病重症化リスクの高い医療未受診者・受診中断者を抽出し医療に結び付けていきます。また、糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い方には生活指導を行い、人工透析への移行を防止する事業を実施します。	(1) 保健指導の参加者を確保すべく、案内通知発送後に、再度、未回答者へハガキによる個別の参加勧奨を行った。 平成30年度実績...保健指導:50人	糖尿病治療中の患者のうち重症化リスクの高い通院患者への保健指導を実施した。 保健指導の参加者を確保すべく、案内通知発送後に、再度、未回答者へハガキによる個別の参加勧奨を行った。 令和元年度実績：保健指導：65人	
	(2) 受診勧奨後、一定期間経過後も受診記録がない方に対して、再度の受診勧奨を行った。 平成30年度実績...受診勧奨：158人 (未受診者向け：131人、受診中断者向け：27人)	医療機関未受診者及び受診中断者への受診勧奨を行った。 受診勧奨後、一定期間経過後も受診記録がない方に対して、再度の受診勧奨を行った。 令和元年度実績...受診勧奨：164人 (未受診者向け：140人、受診中断者向け：24人)	
3 増加傾向にある国民健康保険の保険給付費については、引き続きレセプト(診療報酬明細書)点検等により、適正な医療給付の確保に努めます。	(1) 埼玉県国民健康保険団体連合会で診査されたレセプトについて、レセプト点検員により、内容の点検を行い、適正な医療給付の確保に努めた。	継続	
	(2) 県が主催する研修や勉強会等に参加し、点検の効率化を図った。 レセプト点検研修参加者 7月:2名 県職員によるレセプト点検勉強会参加者 12月:5名	診療報酬に関する月刊誌や埼玉県からの通知により知識を補い、点検の効率化を図った。	
4 健康・医療情報を活用して作成したデータヘルス計画(平成28年度策定予定)に基づき、保健事業の実効性を高めています。	(1) KDBシステムを活用して、疾病の傾向や特性を把握し、「第2期所沢市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)平成30年度～平成35年度」に基づき、保健事業を実施した。	継続	

特記事項 1	令和2年度からは、「所沢市国民健康保険医療費適正化への取り組み」については、第2期所沢市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)で管理することとなった。
委員会コメント欄	「所沢市国民健康保険医療費適正化への取り組み」について、データヘルス計画での管理となった後も適正に推進されたい。

1「目標指標」、「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1、2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第7章計画の円滑な推進

第1節保健・医療・介護・福祉の連携

目標指標		新たな連携のあり方や仕組みの検討	目標指標達成度	①	A	B	C	D
目標指標の説明	保健から医療さらに介護、福祉に至るサービスを切れ目なく提供できる新たな連携のあり方や仕組みづくりを検討し、具体的な方策をまとめます。		目標 (R元年度)	具体的な方策をまとめる				
実績の算出方法	連携や仕組みづくりの検討状況		実績 (R元年度)	継続				
			各年度の達成率(状況)	H28	H29	H30	R元	
				継続	継続	継続	継続	

今後の市の方向性	取組状況	取組状況結果	(改善・充実) 1項目	(維持) 6項目	
		全7項目	(検討中) 0項目	(未実施) 0項目	
平成30年度主な取組実績		令和元年度主な取組実績			取組状況
1 市民に対して、保健・医療・介護・福祉の包括的なサービスが提供できるよう、各サービスに関する情報提供及び市、関係機関、関係団体等有機的に連携する体制の構築に努めます。	(1) 引き続き、地域ケア会議に保健師が出席し、高齢者の日常生活に係る地域の課題や問題点についての情報共有やその対応策等について検討を行っている。	継続			
	(2) 市民向け公開講座「いい人生だったと思えるために～平穏死のすすめ」を開催した。	継続 市民向け公開講座「知って安心在宅医療と介護」を開催した。			
2 医療関係団体と連携して、疾病の早期発見、重症化予防に取り組めます。	(1) がん検診では、平成28年度より前立腺がん検診を実施。また、所沢市医師会の各がん検診委員会の場において意見交換を行った。	継続 令和元年から胃がん検診のX線検査に加え、胃内視鏡検査を開始した。また、引き続き、所沢市医師会の各がん検診委員会の場において意見交換を行った。			
	(2) 成人歯科検診においても、所沢市歯科医師会、関係団体、有識者を交えての会議に出席した。	継続			
	(3) 生活習慣病重症化予防対策事業を実施した。 保健指導実績:50人 受診勧奨実績:158人 (未受診者向け:131人、受診中断者向け:27人)	生活習慣病重症化予防対策事業において、医師会担当理事と連携し、対象者の選定を行った。ハイリスク者に対して保健指導等を行うことにより、被保険者の病状維持及び改善、医療費の抑制を図った。 令和元年度実績...保健指導:65人 受診勧奨:164人 (未受診者向け:140人、受診中断者向け:24人)			
	(4) 各医療機関で実施する、特定健診の結果説明時に、特定保健指導対象者への事業の周知を、各医療機関に依頼した。	継続			

3 既存の組織や会議体を再構築することも含め、新たな連携のあり方や仕組みを検討します。	(1) 引き続き「所沢市リハビリ連絡会」を開催し情報共有に努めたほか、冊子「リハビリ施設一覧」を作成し、市内の医療資源の情報共有を図った。	継続	
特記事項 1			
委員会コメント欄	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次計画の基本目標である「心身ともに健康と感じ、必要なときに必要な医療が受けられるまち」を目指し、保健・医療・介護・福祉に関わる部署が連携を図りながら取り組みを進めている。 ・超高齢社会の中、医療や介護の需要がますます増え、多様化することが考えられる。今後も、保健・医療・介護・福祉の間で相互に情報共有・情報提供することにより、更なる連携強化を図り、「地域包括ケアシステム」の構築や「フレイル対策」などを推進していく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策については、国や県の動きを注視するとともに、所沢市医師会等とも連携を図り、今後も、市民に的確な情報を迅速に提供できるよう努めていただきたい。 		

1「目標指標」・「今後の市の方向性」に特記事項がある場合、該当する項目の内容を記載しています。(特記事項の例:目...目標指標、1,2...今後の市の方向性の各番号を表しています)

令和元年度 第1次所沢市保健医療計画取組状況評価シート

第7章計画の円滑な推進

第2節計画推進のための体制

目 標 指 標		指標の達成状況	目標指標達成度	㊦	A	B	C	D
						*		
目標指標の説明	計画の達成状況を示す指標です。 目標値は、各節の指標の平均達成率100%を目指すものです。			目標 (R元年度)	100%			
				実績 (R元年度)	—			
実績の算出方法	各節の指標の平均達成率			各年度の 達成率(状況)	H28	H29	H30	R元
					—	—	—	—

特記事項 1	
委員会コメント欄	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画の進行管理は、「所沢市保健医療計画庁内推進会議」において進捗状況を取りまとめ、「所沢市保健医療計画推進委員会」においてPDCAサイクルの考えに基づき点検・評価し、適正な進行管理がなされている。 ・本計画の評価は、小項目ごとの「目標指標に対する達成状況」としている。また、小項目ごとの「取組実績」の内容を確認し、必要に応じて、「委員会コメント欄」に評価を補足する内容を記載している。 ・本計画書を市民に周知するため市ホームページや市政情報センターを通じて情報提供されるとともに、計画の目標指標や達成状況、「今後の市の方向性」に対する取組状況などを示した「所沢市保健医療計画取組状況評価シート」を作成し、市民に公表されている。 ・以上のことを踏まえ、総合的に判断し、目標指標達成度は「B」評価とする。 ・「取組状況結果」における「未実施」8項目については、目標達成によるものが4項目、事業の見直しのための準備期間によるものが3項目、新型コロナウイルス対策の影響によるものが1項目であることを確認した。